〔衛生動物 Vol. 33 No. 1 p. 77-94 1982〕

デング熱とその媒介蚊に関する文献集 (1905~1979年)

江 下 優 樹 (編)

帝京大学医学部寄生虫学教室 (〒173 東京都板橋区加賀 2-11-1)

(受領: 1981年10月19日)

Japanese references to the studies on dengue
fever and its vectors, 1905-1979

compiled by Yuuki ESHITA

*Department of Parasitology, Teikyo University School of Medicine,
2-11-1, Kaga, Itabashi-ku, Tokyo 173*

デング熱は、高熱・頭痛、発疹などを伴うウイルス性疾患で、蚊によって媒介される。近隣の東南アジアなどの熱帯諸地域では、致死率の高い出血性を伴った本症が重要な疾患の一つとなっている。

現在のわが国では、本症の輸入例の報告があるにすぎないが、かつて1940年代に主要都市の港湾地域を主として多数のデング熱患者が発生しており、多くの研究者が調査研究に従事していた。その際、報告された本症の疫学的研究、臨床例などについてもかなりの報告が残されている。

ここにあげた文献は、主として医学中央雑誌の2巻

(1903年) から393巻(1981年)までの索引から「デング熱」のキーワードでひろい出したものを著者のアルファベット順に並べたものである。なお、文献の記載内容はおおむね上記雑誌に従ったが、できるかぎりの文献の追加および1950年代以前の文献頁数の加筆を行っている。

この文献集の作成にあたり、ご指導下さった帝京大学医学部寄生虫学教室の佐々学教授、ご協力を得た東京大学医科学研究所寄生虫研究部の白坂昭子博士、中村伸枝氏、および東大 医科研 図書室、帝京大 医学図書館員の方々に深謝する。

文 献

阿部 功, 岩澤茂治, 中橋勇次郎(1943): Dengue 熱媒介ヒトスジギ蚊の越冬状況並に之が早期撲滅に関する実験的研究. 海軍軍医会雑誌, **32**(5): 333-341.
阿部 功, 鹽入綾夫, 井手武夫(1943): Dengue 熱の人工接種成績(会). 海軍軍医会雑誌, **32**(10): 805.
阿部 功, 岩澤茂治(1943): Dengue 熱予防(1) 蚊属の冬季耐過(2) 蚊卵幼虫の化学的物理的影響に対する抵抗性(会). 海軍軍医会雑誌, **32**(9): 692.
阿部 功, 鹽入綾夫, 井出武夫, 岩澤茂治, 中橋勇治郎(1944): ヒトスジシマ蚊の刺咬に因る Dengue 熱発症に就ての臨床的観察(会). 海軍軍医会雑誌, **33**(3): 368.
足立恒二(1936): デング熱の臨床的観察(会). 海軍軍医会雑誌, **25**(10): 705.
赤司和嘉(1932): 昭和六年台南地方に流行せるデング熱. 台湾医学会雑誌, **31**(7): 767.

赤司和嘉(1936): デング熱に因る吐血死. 医界展望 2 回 特別号: 449.
赤司和嘉, 林 永昌(1943): 最近経験した Dengue 熱に因る出血例及び精神興奮例(会). 台湾医学会雑誌, **42**(12): 1255.
青木英夫(1968): Dengue 熱 Virus の BHK-21細胞に於ける Plaque assay(会). 日本細菌学雑誌, **23**(8): 660-661.
青木英夫(1969): BHK-21細胞の単層培養に由る Dengue 及 Arbovirus 類の Plaque 検定(英文)(会). *Jap. J. Trop. Med.*, **10**(1): 72.
青木義勇(1944): 昭和18年漢口に流行した Dengue 熱を中心に二, 三風土病に就て雑感を述ぶ. 日本医学, (3373): 437.
青木義勇, 白石天外, 山口伊典(1943): 昭和18年漢口に流行せる Dengue 熱(会). 長崎医学雑誌, **21**(12):

- 1270.
- 青木義勇, 白石天外, 山口伊典(1944): 昭和18年漢口に流行せる Dengue 熱. 同仁会医学雑誌, **18**(4): 366.
- 荒井 恵(1942): Dengue 熱の経験. 日本医事新報, (1045): 2183.
- 栗井譽祐(1960): Trypsin の処理 Hamster 腎細胞培養に由る Dengue II 型 Virus の培養. 神戸医科大学紀要, **20**(2): 339-350.
- Bhamarapravati, N. (1966): Dengue 出血熱に於ける皮膚及び血管変化(英文)(会). *Abstracts of Papers of the 11th Pacific Science Congress*, 8: 3.
- Bhatt, P. N. (1966): 印度に於ける最近の出血熱, Chikungunya 熱及び Dengue 熱(英文)(会). *Abstracts of Papers of the 11th Pacific Science Congress*, 8: 26
- Chan, Y. C., K. A. Lim (1966): Singapore に於ける出血熱の最近の流行(英文)(会). *Abstracts of Papers of the 11th Pacific Science Congress*, 8: 23.
- 陳 万生(1944): 昭和17年度に於ける 広東の Dengue 熱. 台湾の医界, **2**(12): 721.
- 陳 忠義, 梅原 雅(1944): 本年経験せる Dengue 熱の統計的臨床観察. 台湾の医界, **3**(9): 457.
- Cohen, S. (1966): Dengue 出血熱: 病態生理学及び治療(英文)(会). *Abstracts of Papers of the 11th Pacific Science Congress*, 8: 27.
- Cohen, S. (1967): タイ国に於ける蚊の運搬する出血熱の病理生理学と治療(英文). *Jap. J. Med. Sci. Biol.*, **20** (Suppl.): 90-95.
- 瀬川定松(1944): Dengue 熱患者の尿中 Urobilin 及び血清 Birirubin 量. 熱帯医学(台湾), **2**(1): 26.
- 江下優樹, 栗原 毅, 緒方隆幸(1979): 数種蚊類の Dengue ウイルス感染実験(会). 衛生動物, **30**(1): 59.
- 江下優樹, 栗原 毅, 緒方隆幸(1979): 数種蚊類の Dengue ウイルス感染実験(2報)(会). 衛生動物, **30**(1): 2.
- Eshita, Y., T. Kurihara and T. Ogata (1980): *Experimental Infection of Japanese Mosquitoes with Dengue-2 Virus* (Abstract). XVI International Congress of Entomology, Abstracts: 341, Kyoto, Japan, 3-9 August, 1980.
- 江下優樹, 栗原 毅, 緒方隆幸(1981): 数種蚊類の Dengue ウイルス感染実験(3報)(会). 衛生動物, **32**(2): 178.
- 江下優樹, 栗原 毅, 緒方隆幸(1981): シマカ亜属の Dengue ウイルス媒介能(会). 衛生動物, **32**(2): 155.
- 江下優樹, 栗原 毅, 緒方隆幸, 松尾悦子(1978): リバースシマカの Dengue ウイルスに対する感受性(会). 衛生動物, **29**(1): 8.
- 江下優樹, 栗原 毅, 緒方隆幸, 松尾悦子(1979): ヒトスジシマカ群の Dengue ウイルスに対する感受性(会). 日本脳炎ウイルス生態学会報, (10): 4-5.
- 江下優樹, 栗原 毅, 緒方隆幸, 大谷 明(1980): アルボウイルス検出に用いるオオカ継代飼育法の改良(会). 衛生動物, **31**(2): 126.
- 江下優樹, 栗原 毅, 緒方隆幸, 大谷 明(1981): アルボウイルス分離に用いるオオカ属 *Toxorhynchites* の継代大量飼育法の改良. 日本脳炎ウイルス生態学会報, (12): 9-10.
- 江下優樹, 栗原 毅, 緒方隆幸, 大谷 明(1982): 蚊類の Dengue ウイルス感受性に関する研究. I. 本邦産蚊類のウイルス感受性. 衛生動物, **33**(1): 61-64.
- 江下優樹, 栗原 毅, 緒方隆幸, 大谷 明(1982): 蚊類の Dengue ウイルス感受性に関する研究. II. ウイルス実験宿主としての *Toxorhynchites amboinensis* (Doleschall) の継代飼育法の改良. 衛生動物, **33**(1): 65-70.
- 江下優樹, 栗原 毅, 緒方隆幸, 米山悦子(1979): 日本産蚊数種の Dengue virus の感受性. 国立予防衛生研究所年報, **32**: 119.
- 藤井 保(1930): Dengue 熱に就て. 成医会臨牀, **2**(4): 22.
- 藤井 保(1940): Dengue 熱. 臨牀医学, **28**年(10): 1218.
- 藤田宣哉(1976): Dengue 熱ワクチンに関するウイルス学的考察. 日本熱帯医学会雑誌, **4**(2): 99-114.
- 藤田宣哉(1978): Dengue ならびに Dengue 出血熱について(会). 日本熱帯医学会雑誌, **6**(2): 89-90.
- 藤田宣哉ほか1名(1978): Dengue 熱ワクチンの試み(会). 感染症学雑誌, **52**(7): 267.
- 藤田宣哉, N. Karabatsos, 堀田 進(1974): 硫酸プロタミンまたはポリエチレングライコール処理による Dengue ウイルス 活性因子の検討(会). ウイルス, **24**(3): 203-204.
- 藤田宣哉, 吉田和代(1979): 長崎における Dengue の地域流行の追跡調査・Dengue の一回感染後30年以上を経た血清中の特異抗体の検出(英文). *Kobe J. Med. Sci.*, **25**(4): 217-224.
- 藤田宣哉, 小田克彦, 安井祥雄, 堀田 進(1969): 組織培養に於ける Dengue の研究(3) 弱毒組織培養 I 型 Dengue virus と黄熱 Vaccin の併用接種に対する人の血清学的反応(英文). *Kobe J. Med. Sci.*, **15**(4): 163-180.
- 藤田宣哉, 小田克彦, 井崎シゲル, 堀田 進(1969): Dengue 熱(1型)弱毒株 Virus に由る抗体産性の機序に関する一考察(会). ウイルス, **19**(5): 274.
- 藤田宣哉, 田村正子, 堀田 進(1972): Dengue 熱ウイルス(1型)精製粒子から得られた二, 三の分画の抗原性, とくにウサギおよびサルにおける抗体産生のパターンについて(会). ウイルス, **22**(4): 315.
- 藤田宣哉, 田村正子, 堀田 進(1976): Dengue の免疫生物学的研究(I) 部分精製 Dengue 1 型ウイルスとその構成成分の免疫原性(英文). *Kobe J. Med. Sci.*, **22**(3): 211-228.
- 藤田宣哉, 井崎シゲル, 小田克彦, 堀田 進, 木村英二(1972): 組織培養系における Dengue (V) Dengue 1 型 virus 弱毒株接種サル組織の組織培養における抗 Dengue 抗体の産生(英文). *Kobe J. Med. Sci.*, **18**(3): 143-152.
- 藤田茂尚, 岡田逸三, 福島玄春, 天野 弘(1943): 大阪に於ける Dengue 熱流行の疫学的並に臨床的観察. 臨牀医報, **15**(11): 9.
- 藤原立道(1938): 和歌山県M紡績工場内に於ける Dengue 熱の小流行. 医事公論, (1354): 8.
- 福田秀信(1943): 昭和18年長崎市に於ける Dengue 熱

- の疫学的観察(会). 長崎医学会雑誌, **21**(12): 1271.
- 福田 凌(1945): Chinin に依る Dengue 熱の治療(会). 台湾医学会雑誌, **41**(1): 67.
- 福井正雄(1943): 今夏高雄地方に流行せる小児 Dengue 熱の臨床的統計的観察並に其早期診断法と再感染. 児科診療, **9**(1): 17.
- 布施信良(1943): Dengue 熱及び其鑑別す可き疾患(講演). 臨牀の日本, **11**, 2冊: 145.
- 布施信良(1943): Dengue 熱及び其鑑別すべき疾患. 治療学雑誌, **13**(1): 45; 実験医報, **29**年(3): 239.
- 後藤正勝(1944): Dengue 熱病毒(会). 日本医学, (3365): 225.
- 合屋末千代(1943): Dengue 熱の外科的考察. 治療及處方, **24**, 8冊: 634.
- 合屋末千代, 城間盛光(1943): 昭和17年沖縄県に流行したる Dengue 熱の尿所見. 診断と治療, **30**(4): 349.
- Halstead, S. B., C. Yamarat, P. K. Russell (1966): Thai 及び南 Vietnam に於ける出血熱病因に関する親知見(英文)(会). *Abstracts of Papers of the 11th Pacific Science Congress*, **8**: 20.
- 濱田俊景(1943): 血球中の廣瀬・Cholin 顆粒(1) Dengue 熱患者血球中の廣瀬・Cholin 顆粒(会). 日本血液学会雑誌, **7**(7): 30.
- 濱田宗之助(1942): 小児 Dengue 熱の臨床. 日本医事新報, (1056): 2751.
- 濱田宗之助, 門脇勅夫, 井手速見, 藤井俊夫, 安井 弘, 長岡正成(1943): 長崎市に流行せる Dengue 熱特に小児症例調査(1). 児科雑誌, **49**(3): 243.
- 濱田宗之助, 井手速見, 安井 弘, 門脇勅夫, 藤井俊夫, 長岡正成(1943): 長崎市に流行せる Dengue 熱特に小児症例調査(2)(会). 第43回九州沖縄医学会会誌: 212.
- 濱田宗之助, 井出速見, 安井 弘, 門脇勅夫, 藤井俊夫, 長岡正成(1943): 小児 Dengue 熱の臨床的観察(会). 児科雑誌, **49**(7): 553.
- 花岡信男(1942): 今秋東京にて発病せる Dengue 熱の一例. 日本医学及健康保険, (3306): 2293.
- 花岡信男, 矢崎芳夫(1942): 今秋東京に於て発病せる Dengue 熱の一例及び其疫学的並に衛生気象学的考察(会). 成医会雑誌, **61**(10): 1115.
- 羽根田貞司(1947): Dengue 熱病毒に依る動物実験. 名古屋医学会雑誌, **61**(2, 3): 43.
- 原田義道(1947): Dengue 熱病毒接種猿に就ての臨床的並に病理学的観察(会). 福岡医学雑誌, **38**(4): 166.
- 原田義道(1949): Dengue 熱病毒接種猿に於ける臨床的並に病理学的観察. 日本内科学会雑誌, **38**(10~11): 286.
- 原田義道(1949): Dengue 熱病毒接種猿に於ける血液像(会). 米子医学雑誌, **1**(3): 143.
- 春田有道(1942): Dengue 熱の特異性と変化. 診療と経験, **6**, 11冊: 784.
- 春田有道(1943): Dengue 熱. 家事と衛生, **19**(8): 15.
- 橋本岩雄, 谷村英紀, 平田文範, 井上喜通, 許 健一, 大山昭夫(1972): デング熱ウィルスの形態(会). 関西医科大学雑誌, **24**(3): 386.
- 橋本勝之(1954): Dengue 熱 Virus の基本性質に関する研究(会). 久留米医学会雑誌, **17**(3~4): 170.
- 橋本勝之(1955): Dengue 熱 virus の基本性質に関する研究(会). 日本細菌学雑誌, **10**(8): 730.
- 橋本勝之(1955): Dengue 熱 virus の精製に関する基礎的研究(1) 理化学的影響に対する抵抗性. 久留米医学会雑誌, **17**(9~10): 384-394.
- 橋本勝之(1955): Dengue 熱 virus の精製に関する基礎的研究(2) 化学薬品に対する抵抗性を利用しての部分精製の検討. 久留米医学会雑誌, **18**(3~4): 152-161.
- 服部絢一(1945): 接種 Dengue 熱の骨髓像, 同再接種不感染例の骨髓像及び血液像, 同再感染例の血液像(会). 臨牀と研究, **22**(12): 431.
- 服部絢一(1946): Dengue 熱の血液像に関する研究(1) 接種 Dengue 熱の骨髓像. 臨牀と研究, **23**(1): 7-10.
- 服部絢一(1946): Dengue 熱の血液像に関する研究(2) Dengue 熱再接種不感染例の骨髓像及び血液像. 臨牀と研究, **23**(3): 89.
- 服部絢一(1946): Dengue 熱の血液像に関する研究(3) 実験的 Dengue 熱再感染例の血液像. 臨牀と研究, **23**(6): 230-232.
- 服部絢一(1946): Dengue 熱に於ける出血要因. 臨牀と研究, **23**(7): 305-308.
- 服部絢一, 兵働貞夫, 岡村幹雄, 光武良矩(1948): 接種 Dengue 熱の臓器穿刺所見により末梢血に現はるる Plasma 細胞の由来を論ず(会). 日本血液学会雑誌, **11**(3, 4): 117.
- 速水保彦(1942): Dengue 熱雜観. 台湾の医界, **1**(9): 451.
- 林 千種(1944): Dengue 熱の血圧及び脈拍(会). 台湾医学会雑誌, **43**(12): 885.
- 林 博(1944): Dengue 熱病原に関する知見補遺殊に罹患発症マウス諸臓器に於ける病理組織学的所見. 日本医学, (3379): 651-655.
- 林 茂, 中山貞一, 中川元熙, 黄 永健(1944): Dengue 熱に関する臨床的観察. 台湾医学会雑誌, **43**(12): 889.
- 林 恒夫(1929): 昭和二年馬公陸軍部隊ニ流行セルでんぐ熱ニ就テ. 軍医團雑誌, (191).
- 東 昇, 徳田正夫, 飴谷敏男, M. M. Khin, T. Myint (1968): Dengue virus の複製に関する電子顕微鏡的研究(英文). *Annu. Rep. Inst. Virus Res., Kyoto Univ.*, **11**: 57.
- 樋口謙太郎(1952): チフスと Dengue 熱. 福岡医学雑誌, **43**(1): 62.
- 樋口正人(1944): 南方に於ける Dengue 熱浸淫状況. 戦時医学, **1**(7): 372.
- 日野志郎(1943): Dengue 熱患者血液像特に形質細胞の出現. 診断と治療, **30**(10): 811.
- 樋渡吉治(1932): デング熱に関する二, 三の経験. 鹿児島医学雑誌, **9**年(1): 12.
- 堀澤四郎(1916): でんぐ熱患者臨床徴候ノ二, 三統計的観察ニ就テ(学会). 海軍軍医会会報, (13).
- 細井輝彦(1948): 蚊の生物学. 208pp., 河出書房, 東京.
- 細谷省吾, 川島四郎(1931): 沖縄県に流行せる デング熱. 日本医事新報, (483): 2989; 診療, **三年**(11, 12): 970.

- 堀田 進(1947) : Dengue 熱の研究の回顧. 芝蘭會雜誌, (45).
- 堀田 進(1947) : Dengue 熱の研究(10) 人体に於ける予防接種実験(1) Formovaccin 及び牛胆汁 Vaccin の予防効果. 日本医学, (3413) : 87-89.
- 堀田 進(1947) : Dengue 熱の研究(11) 変性した病毒. 日本医学, (3413) : 89-90.
- 堀田 進(1947) : Dengue 熱の研究(12) 人体に於ける予防接種実験(2) 変性病毒より作った予防液の効果. 日本医学, (3414) : 105-106.
- 堀田 進(1947) : Dengue 熱の研究(13) 新皮内反応. 日本医学, (3415) : 141-143.
- 堀田 進(1947) : Dengue 熱の研究(14) 病毒の保存について. 日本医学, (3416) : 159-161.
- 堀田 進(1947) : Dengue 熱の研究(15) 実験的 Dengue 熱の化学療法. 日本医学, (3417) : 188-190.
- 堀田 進(1947) : Dengue 熱研究に於ける最近の知見. 日新医学, 34(5) : 252-259.
- 堀田 進(1948) : Dengue 熱の研究(16) 病毒の精製について. 日本医学, (3422) : 140-142.
- 堀田 進(1948) : Dengue 熱の研究予防接種の効果(会). 日本細菌学雑誌, 3(4) : 119.
- 堀田 進(1949) : Dengue 熱の研究(18) 病毒分離の可能性に関する一考察. 日新医学, 36(9) : 406-408 ; 日本細菌学雑誌, 4(4) : 196.
- 堀田 進(1949) : Dengue 熱の研究(19) 無毒化生病毒 Vaccin 接種による中和抗体の量的推移. 日新医学, 36(10) : 470-471.
- 堀田 進(1949) : Dengue 熱の研究, 変性生病毒による予防接種は何故有効であるか(会). 公衆衛生学雑誌, 5(3) : 158.
- 堀田 進(1949) : デング熱の研究(20) 生菌 vaccin の有効な訳の研究, 変性生病毒に依る Dengue 熱の予防接種. 公衆衛生学雑誌, 6(1) : 15-19.
- 堀田 進(1950) : Dengue 熱の研究(21) Virus の化学的精製補遺及び其電子顕微鏡像. 東京医事新誌, 67(9) : 7-8.
- 堀田 進(1950) : Dengue 熱の研究(22) Mouse 脳通過に因る virus の性状の変化. 東京医事新誌, 67(11) : 19-22.
- 堀田 進(1950) : Dengue 熱病毒の変異(会). 日本細菌学雑誌, 5(4) : 204.
- 堀田 進(1951) : Dengue 熱の研究(23) Virus 中和反応に関する一考察. *Virus*, 1(1) : 51-54.
- 堀田 進(1951) : Dengue 熱 Virus の分離を廻る問題. *Virus*, 1(3) : 187-197.
- 堀田 進(1951) : Dengue 熱の研究(24) Dengue 熱に於ける組織反応. 東京医事新誌, 68(12) : 19-23.
- Hotta, S. (1952) : Experimental studies on dengue. I. Isolation, identification and modification of the virus. II. A skin reaction observed during the epidemic of Osaka, Japan, in 1944. *J. Infect. Dis.*, 90 : 1-12.
- 堀田 進(1953) : マウス馴化 Dengue virus の部分的精製(英文). *Acta Sch. Med. Univ. Kyoto*, 31(1) : 7-10.
- Hotta, S. (1953) : Dengue epidemics in Japan, 1942-1945. *J. Trop. Med. Hyg.*, 56 : 83.
- Hotta, S. (1953) : Therapeutic experiments on dengue infection in mice. *Ann. Trop. Med. Parasitol.*, 47 : 1-8.
- Hotta, S. (1953) : Treatment of mouse passaged dengue virus (Mochizuki strain) with protamine sulfate. *Science*, 118 : 255.
- Hotta, S. (1954) : Experiments of active immunization against dengue with mouse-passaged unmodified virus. *Acta Tropica*, 11 : 97-104.
- 堀田 進(1956) : Dengue 熱 virus の組織培養(会). 日本細菌学雑誌, 11(7) : 620.
- 堀田 進(1957) : 体外培養された Dengue 熱 virus の生物学的免疫学的性状の二, 三(会). *Virus*, 7(2) : 96.
- Hotta, S. (1957) : Some immunological properties of dengue virus cultivated in tissue culture. *Ann. Trop. Med. Parasitol.*, 51 : 249-255.
- 堀田 進(1964) : 熱帯地方の Virus 性疾患特に Dengue 熱を中心として(会). 熱帯医学会誌, 5(1) : 8-18.
- 堀田 進(1966) : Dengue 熱の新知見研究室の観点から(英文)(会). *Abstracts of Papers of the 11th Pacific Science Congress*, 8 : 17.
- 堀田 進(1966) : Dengue 熱 Virus の生物学的特性特に赤血球凝集素の不均一性と夫れに関連する Virus 学的問題の二, 三(会). 熱帯医学会報, 7(1) : 47-50.
- 堀田 進(1967) : Dengue Virus 熱の新知見実験室の局面で(英文). *Jap. J. Med. Sci. Biol.*, 20(Suppl) : 62-67.
- 堀田 進(1967) : 東南 Asia の Virus 疾患特にインドネシアに於ける Dengue 熱及び関連 Arbovirus 感染症(会). 日本伝染病学会雑誌, 41(3) : 136-137.
- Hotta, S. (1969) : *Dengue and Related Hemorrhagic Diseases*, 166pp., Warren H. Green Inc., St. Louis.
- 堀田 進(1970) : デング熱ウイルス(11章). 病原微生物学(ウイルス編)(福見秀雄, 牛場大蔵, 三橋進編). pp. 557-575, 医学書院, 東京.
- 堀田 進(1972) : 人に於ける Dengue 感染による病原性と免疫(英文). *Kobe J. Med. Sci.*, 18(4) : 199-210.
- 堀田 進(1973) : 第八回小島三郎記念文化賞, 受賞記念講演. デング熱の病原的研究. *Mod. Media.*, 19(2) : 88-105.
- 堀田 進(1973) : デング熱, 出血熱ウイルスの免疫学的性状の検討並びにそれに基づくワクチン試作の研究. 文部省研究報告集録(昭和47年)医学及び薬学編(II) : 35-36.
- 堀田 進(1976) : 東南アジアのデングとその疫学(会). 日本熱帯医学会雑誌, 4(2) : 154-155.
- Hotta, S. (1978) : *Dengue and Related Tropical Viruses*. 308pp., Yukosha Printing House, Kobe.
- 堀田 進(1979) : デング熱に関する最近のトピックス. 特にデング出血熱・ショック症候群について. *Mod. Media.*, 25(8) : 565-572.
- Hotta, S. (ed.) (1981) : Dengue hemorrhagic fever (*Proceeding of the First ICMR Seminar, Novem-*

- ber, 21-22, 1980). 253pp., International Center for Medical Research, Kobe Univ. Sch. Med., Kobe.
- Hotta, S. (1981): *ICMR Annals* (Vol. 1). 285pp., International Center for Medical Research, Kobe Univ. Sch. Med., Kobe.
- Hotta, S. and C. A. Evans (1955): Cultivation of mouse-adapted dengue virus in tissue culture. *Fed. Proc.*, **14**: 466.
- Hotta, S. and C. A. Evans (1956): Cultivation of mouse-adapted dengue viruses (type 1) in rhesus monkey tissue culture. *J. Infect. Dis.*, **98**: 88-97.
- Hotta, S. and C. A. Evans (1956): Cultivation of type 2 dengue virus in rhesus kidney tissue culture. *Proc. Soc. Exp. Biol. Med.*, **93**: 153-155.
- Hotta, S. and C. A. Evans (1956): Ether sensitivity of dengue virus. *Virology*, **2**: 704-706.
- 堀田 進, 藤田宣哉 (1966): Dengue 熱 Virus の Plaque 形成特に至適条件の探求(会). 熱帯医学会報, **7**(1): 80.
- 堀田 進, 松村武男 (1964): Dengue 熱 Virus の部分精製と其血球凝集反応性(会). ウイルス, **14**(5~6): 303-304.
- 堀田 進, 松村武男 (1966): Dengue 熱及び黄熱 Virus の生物学的特性, 特に赤血球凝集素の異相性(会). ウイルス, **16**(4~5): 144.
- 堀田 進, 佐々木文存 (1953): Dengue 熱並に狂犬病 Virus の幼若家鶏に対する毒性(会). *Virus*, **3**(3): 227.
- 堀田 進, 鹽見俊朗 (1946): Dengue 熱の研究(17) 実験的マウス Dengue 熱に於ける血液像(会). 日本血液学会雑誌, **9**(3): 86.
- 堀田 進, 鹽見俊朗 (1949): Dengue 熱の研究(17) 実験的マウス Dengue 熱に於ける血液像について. 日新医学, **36**(3): 112-115.
- 堀田 進, 鹽見俊朗 (1952): 人及びマウスの実験的 Dengue 熱感染時の血液像(英文). *Acta Sch. Med. Univ. Kyoto*, **30**(1): 11-17.
- 堀田 進, 徳田正夫 (1951): デング熱ウイルスの補体結合反応(会). 日本細菌学会関西支部第4回総会記録, **35**.
- 堀田 進, 青木英夫, 島津洋三 (1965): Dengue 熱 virus の鶏胎児皮膚筋肉組織及び African green monkey 腎細胞培養に於ける増殖(会). 熱帯医学会報, **6**(1): 59.
- 堀田 進, 藤井達三, 田辺 巖 (1952): ウイルス感染マウス臓器内に於ける放射性同位元素 (P^{32}) の分布: 同位元素の微生物学領域への応用(第一報). *Virus*, **2**: 26-29.
- 堀田 進, 藤田宣哉, 丸山てい子 (1966): 組織培養に於ける Dengue の研究(1) 株化猿腎細胞に於ける Plaque 形成(英文). *Kobe J. Med. Sci.*, **12**(3): 179-187.
- 堀田 進, 藤田宣哉, 島津洋三, 安井祥雄 (1966): 組織培養された Dengue 熱 1 型 Virus の人体反応性(会). 日本細菌学雑誌, **21**(8): 430-431.
- 堀田 進, 伊藤友喜, 藤井達三 (1951): Dengue 熱 virus に関する知見補遺 Mouse 脳に於ける Virus 感染と酵素作用との関係(会). 日本細菌学雑誌, **6**(3): 184.
- 堀田 進, 大山昭夫, 高見嘉重 (1962): 組織培養に於ける Dengue 熱及び黄熱 virus の一段増殖曲線並に夫れに伴う感染細胞の形態学的変化(会). 熱帯医学会報, **3**(1): 30-31.
- 堀田 進, 大山昭夫, 山田隆己, 栗井譽祐 (1961): 諸種人及び動物組織の培養に於けるマウス通過 Dengue 熱 Virus の増殖(英文). *Jap. J. Microbiol.*, **5**(1): 77-88.
- 堀田 進, 竹原 学, 松村武男 (1965): Dengue 熱 virus の部分的精製と其血球凝集素の二, 三の性質. ウイルス, **15**(4~5): 165-166.
- 堀田 進, 藤堂参五, 徳地幹夫 (1963): 日本在住者の所謂正常血清に於ける抗 Dengue 抗体の検索(会). 熱帯医学会報, **4**(1): 22-23.
- 堀田 進, 徳地幹夫, 榊原春司 (1966): 日本在住者血清に於ける Dengue 熱抗体の検索(会). 熱帯医学会報, **7**(1): 79.
- 堀田 進, 山本正弘, 徳地幹夫, 榊原春司 (1968): 日本列島の住民の血清中の抗 Dengue 熱抗体の長期存在(英文). *Kobe J. Med. Sci.*, **14**(2): 149-153.
- 堀田 進, 藤田宣哉, 島津洋三, 安井祥雄, 大久保好子, 丸山てい子 (1966): 組織培養に於ける Dengue の研究(3) 組織培養 (Humanattenuated) 型 1 Virus 株の免疫効果(英文). *Kobe J. Med. Sci.*, **12**(4): 199-205.
- Huang, S. C. (1976): デング 4 型ウイルスの電顕観察(英文). 関西医科大学雑誌, **28**補冊: S. 114-S. 156.
- 指宿總一 (1942): 予の経験せる Dengue 熱. 臨牀と薬物, **11**(10): 328.
- 一ノ瀬健吾 (1943): Dengue 熱疹の観察(会). 皮膚科性病科雑誌, **53**(5): 224.
- Igarashi A., M. Mantani (1974): 螢光フォーカス計数による dengue 4 型ウイルスの迅速ウイルス力価測定法(英文). *Biken J.*, **17**(3): 87-93.
- 五十嵐章, 深井孝之助, S. Ahandrik, P. Tuchinda (1968): タイ国に於ける Dengue hemorrhagic fever 患者血清中の日本脳炎 Virus 抗体. *Biken J.*, **11**(1): 41-49.
- 五十嵐章外 3 名 (1978): Focus counting 法によるデングウイルス感染価の測定とその応用(会). 日本熱帯医学会雑誌, **6**(2): 114-115.
- 伊能健治 (1943): Dengue 熱媒介蚊. 軍医団雑誌, **359**: 441.
- 飯村保三 (1931): 沖縄のデング熱流行. 公衆衛生, **49**(8): 497-503.
- 池田満次郎 (1942): マーシャル群島イミュージ島に於ける Dengue 熱並に毒魚知見(会). 海軍軍医会雑誌, **31**(7): 600.
- 池田満次郎 (1944): Dengue 熱の血液像調査(会). 海軍軍医会雑誌, **33**(1): 94.
- 池田苗夫 (1977): 流行性出血熱とデング熱の診断. 感染症学雑誌, **51**(2): 59-61.
- 池上 豊 (1942): Dengue 熱と罹患体験. 日本医事新報, (1045): 2185.

- 池上 豊(1942): Dengue 熱体験記 (台湾時代の思い出). 日本医事新報, (1013): 419.
- 井街 譲(1946): Dengue 熱に原因せる中心性網膜炎症例. 日本眼科学会雑誌, 50(1-3): 11.
- 稲垣長次郎(1917): でんぐう熱ニ就テ. 研瑤会雑誌, (132).
- 稲垣長次郎(1942): Dengue 熱の思い出. 日本医事新報, (1045): 2183.
- 猪木正三, 守屋尚三, 小林良一(1950): Dengue 熱の血清免疫学的研究, 特に回復患者血清及び免疫動物血清の滅殺素試験. 大阪大学医学雑誌, 2(3): 65-71, 241.
- 猪木正三, 守屋尚二, 小林良一(1951): Dengue 熱の血清免疫学的研究, 特に回復患者血清及び免疫動物血清の滅殺素試験. 大阪大学微生物病研究所年報, 1: 1.
- 猪木正三, 守屋尚二, 小林良一(1952): Dengue 熱の免疫学的研究, 特に回復期人血清及び動物免疫血清を以てせる中和試験(英文). *Med. J. Osaka Univ.*, 3(2, 3): 347-356.
- 猪木正三, 関根三郎, 木戸口忠(1947): 超音波に依る Dengue 熱 Vaccin 不活性化の作用機転. 医学と生物学, 10(4): 221.
- 井上 栄(1976): デング 2 型株間における SCF 抗原の電気泳動度の違い. 国立予防衛生研究所年報, 29: 154.
- 井上 栄(1979): デング熱 HA の簡単な調整法. 国立予防衛生研究所年報, 32: 207.
- 井上 栄, 松野重夫, 長谷川斐子(1974): デング熱 virus 抗原の蔗糖勾配電気泳動法による分析(会). ウイルス, 24(3): 204.
- 井上 栄, 松野重夫, 長谷川斐子(1975): デング熱 virus 抗原の蔗糖勾配電気泳動法による分析. 国立予防衛生研究所年報, 28: 148.
- 井上 栄, 松野重夫, 長谷川斐子(1975): デング熱ウイルス HA の表面荷電(会). ウイルス, 25(3): 143-144.
- 井上 栄, 松野重夫, 長谷川斐子(1976): デング熱 HA の表面荷電. 国立予防衛生研究所年報, 29: 153.
- 井上 栄, 松野重夫, 甲野礼作(1977): デング出血熱患者血清中の抗体の分析. 国立予防衛生研究所年報, 30: 170.
- 井上 栄, 松野重夫, 長谷川斐子(1977): 感染マウス脳より調製した Dengue virus 赤血球凝集素の表面荷電(英文). *Jap. J. Med. Sci. Biol.*, 30(2): 109-118.
- 井上 栄, 松野重夫, 甲斐礼作(1979): デング出血熱患者血清中の IgA 抗体. 国立予防衛生研究所年報, 32: 206-207.
- 入山謙三, 川瀬芳郎(1943): 昭和17年度夏期 Dengue 熱症例報告. 臨牀医報, 15(1): 17.
- 石井 潔(1942): Dengue 熱の臨床. 治療及処方, 23, 3冊: 267.
- 石井信亨, 藤田宣哉(1961): Dengue 熱, 黄熱 Virus 間の一種の干渉現象. 神戸医科大学紀要, 23補遺: 68-76.
- 石井信太郎(1943): Dengue 熱. 日本臨牀, 1(4): 419.
- 石井信太郎(1943): Dengue 熱. 日本医事新報, (1058): 46.
- 石井信太郎(1943): Dengue 熱研究余話. 日本臨牀, 1(1): 84.
- 石井信太郎(1943): Dengue 熱の媒介蚊. 内科及小児科, 3(8): 555.
- 石井信太郎(1943): Dengue 熱媒介蚊に関する研究(会). 日本寄生虫学会記事, 15年: 19.
- 石井信太郎(1943): Dengue 熱の流行と其対策. 医界週報, (414): 337.
- 石井信太郎(1948): Dengue 熱研究(1) Dengue 熱及び免疫研究(1) (英文). *Jap. Med. J.*, 1(2): 160-175.
- 石井信太郎(1948): Dengue 熱研究(1) Dengue 熱及び免疫研究(2) (英文). *Jap. Med. J.*, 1(3): 228.
- 石井信太郎(1949): Dengue 熱の媒介蚊に関する研究(会). 風土病研究(宮川米次編), p. 91. 日本医学雑誌・株, 東京.
- 石井信太郎, 矢島嘉清(1946): Dengue 熱に関する研究(11) 病毒に対する温度及二三薬品の影響. 日本医学, (3402): 46.
- 石井信太郎, 福田雅夫, 木村京子(1944): Dengue 熱に関する研究(10) ラッテ感染実験. 日本医学, (3379): 639.
- 石井信太郎, 鴨脚光増, 福田雅夫(1943): Dengue 熱に関する研究(4) マウス脳内接種実験. 日本医学及健康保険, (3321): 344-345.
- 石井信太郎, 木村京子, 三苦靖子(1944): Dengue 熱に関する研究(9) 病毒の体内分布. 日本医学, (3371): 409; 実験医学雑誌, 28: 287.
- 石井信太郎, 木村京子, 大串卓朗(1944): Dengue 熱に関する研究(7) 免疫の実験的研究(1). 実験医学雑誌, 28(1): 28.
- 石井信太郎, 三苦靖子, 大串卓朗(1943): Dengue 熱に関する研究(5) 媒介蚊の越冬法. 日本医学及健康保険, (3329): 735-737.
- 石井信太郎, 三苦靖子, 大串卓朗(1943): Dengue 熱に関する研究(5) 媒介蚊の越冬法(会). 実験医学雑誌, 27(4): 400.
- 石井信太郎, 矢島嘉清, 三苦靖子(1943): Dengue 熱に関する研究(3) 家兎前眼房内接種実験. 日本医学及健康保険, (3317): 156-158.
- 石井信太郎, 矢島嘉清, 三苦靖子(1943): Dengue 熱に関する研究(3) 家兎前眼房内接種実験(会). 実験医学雑誌, 27(2): 210.
- 石井信太郎, 鴨脚光増, 福田雅夫, 矢島嘉清, 三苦靖子(1942): 長崎市の Dengue 熱流行. 南方医薬研究資料, (1): 21.
- 石井信太郎, 鴨脚光増, 福田雅夫, 矢島嘉清, 三苦靖子(1943): Dengue 熱に関する研究(1) 長崎市の Dengue 熱流行. 日本医学及健康保険, (3316): 92-95.
- 石井信太郎, 鴨脚光増, 福田雅夫, 矢島嘉清, 三苦靖子(1943): Dengue 熱に関する研究(1) 長崎市内の流行(会). 実験医学雑誌, 27(2): 209.
- 石井信太郎, 三苦靖子, 鴨脚光増, 福田雅夫, 矢島嘉清(1943): Dengue 熱に関する研究(2) Dengue 熱媒介蚊に関する研究. 日本医学及健康保険, (3317): 153-155.

- 石井信太郎, 三苦靖子, 鴨脚光増, 福田雅夫, 矢島嘉清 (1943): Dengue 熱に関する研究(2) 媒介蚊に関する研究(会). 実験医学雑誌, **27**(2): 200.
- 石井信太郎, 鴨脚光増, 矢島嘉清, 三苦靖子, 大串卓朗, 木村京子 (1944): Dengue 熱に関する研究(6) 増強ウイルスに関する研究. 実験医学雑誌, **28**(1): 21.
- 石井信太郎, 三苦靖子, 矢島嘉清, 大串卓朗, 鴨脚光増, 福田雅夫, 木村京子, 徳原秀子 (1944): Dengue 熱に関する研究 (8) 日本内地の媒介蚊棲息状況. 実験医学雑誌, **28**(2): 109-111.
- 石井 節 (1943): Dengue 熱を体験して. 内科小児科, **3**(8): 579.
- 石渡宜郎 (1942): Dengue 熱と妊婦. 台湾の医界, **1**(9): 456.
- 伊東正成 (1932): デング熱漫談(会). 海軍軍医会雑誌, **21**(1): 100.
- 伊藤信義 (1945): Dengue 熱の合併症として現れたる急性脊髄炎の一例. 海軍軍医会雑誌, **34**(1): 39.
- 伊藤信義 (1959): 南 Borneo に於ける Dengue 熱. 大阪医科大学雑誌, **19**(2): 211.
- 伊藤友喜, 堀田 進 (1951): 病毒感染臓器の酵素作用(会). 生化学, **23**(2, 3): 172.
- 伊藤善次 (1928): 澎湖島衛生概況(会). 軍医団雑誌, (175).
- 井内 功 (1943): Dengue 熱の淋菌性疾患に及ぼす影響に就ての臨床的観察. 兵庫医学, **9**(2): 150-159.
- 岩井正知 (1949): Dengue 熱に続発せる眼疾患(会). 眼科臨床医報, **40**(8): 144.
- 岩本 功, 牟田直矢, 中島康雄, 村土文也, 都外川幸雄, 七条明久 (1973, 4): 移入デング熱の1症例. 熱帯医学, **15**(4): 225-230; 日本内科学会雑誌, **63**(1): 57-58.
- 岩田正俊 (1942): Dengue 熱と媒介蚊. 日新治療, (296): 457.
- 岩田正俊 (1943): Dengue 熱発生地付近のヒトスデシマ蚊棲息状況調査. 日新治療, (303): 136.
- 岩田正俊 (1943): Dengue 熱発生地付近に於けるヒトスデシマ蚊の棲息状況(会). 日本寄生虫学会記事, **15**年: 94.
- 井関 鼎 (1935): 昭和二年パラオ島に流行せるデング熱特に其流行の状況. 皮膚科紀要, **25**(3): 249.
- 井関 鼎 (1942): 昭和二年パラオ島に流行せる Dengue 熱. 治療及処方, **23**, 12冊: 1357.
- 香川昇三 (1942): 南方の奇病 Dengue 熱の話. 栄養と料理, **8**(12): 20.
- 開田敏雄 (1943): Dengue 熱に於ける赤血球沈降速度. 日本血液学会雑誌, **7**(1): 100.
- 開田敏雄 (1943): Dengue 熱に於ける赤血球沈降速度並に一般臨床事項に関する知見補遺. 名古屋医学会雑誌, **58**(2): 159-160.
- 海江田正孝 (1943): 昭和16年夏期流行せる所謂厦門熱. 台湾医学会雑誌, **42**(3): 291.
- 加來得英 (1928): デング熱の臨床的知見補遺. 臨床医学, **第16**年(7).
- 加來得英 (1928): 歩兵第21連隊ニ発生セルでんぐ熱ニ就テ(会). 軍医団雑誌, (177).
- 加來得英 (1929): 歩兵第21連隊ニ発生セルでんぐ熱に就テ. 軍医団雑誌, (191).
- 角尾 晉, 箴島四郎 (1945): Dengue 熱の鑑別診断. 日本臨牀, **3**(6): 107.
- 角尾 晉, 芳賀日出男, 箴島四郎, 吉永輝之, 高橋 博, 上村昌生 (1943): Dengue 熱の血液所見(会). 日本内科学会雑誌, **31**(4): 234.
- 角尾 晉, 箴島四郎, 吉永輝之, 芳賀日出男, 上村昌生, 四熊知方 (1947): 昭和18年長崎市内に流行せる Dengue 熱の臨床的観察(会). 日本内科学会雑誌, **34**(1, 2): 28.
- 金子 直 (1943): 今夏長崎地方に流行せる Dengue 熱と其剖検例. 日本医学及健康保険, (3329): 748.
- 金子 直, 森本 泰 (1944): Dengue 熱病原体の孵化鶏卵内培養試験(会). 日本病理学会会誌, **33**: 19.
- 金子 直, 山崎三郎, 安田昌平 (1943): Dengue 熱より敗血症に移行せりと思はるる一症例(病理解剖学的所見)(会). 長崎医学会雑誌, **21**(12): 1271.
- 金光正次, 金内孝三, 小竹 潔 (1944): Dengue 熱ウイルスの研究 (1) マウス脳継代ウイルス. 日本医学, (3396): 1013.
- 笠原道夫 (1926): 風疹, でんぐ熱, いんふるえんぎ及熱性感冒(講義). 実験医報, (135).
- 笠原道夫, 関根三郎, 木戸口忠, 猪木正三 (1946): 超音波の Dengue 熱 Virus に及ぼす作用. 医学総覧, **2**(1): 4.
- 加藤勝治, 矢追秀武, 荒川清二 (1943): Dengue 熱の白血球像(会). 日本血液学会雑誌, **7**(7): 24.
- 加藤勝治, 矢追秀武, 荒川清二 (1946): Dengue 熱の血液像補遺(会). 日本血液学会雑誌, **9**(3): 69.
- 桂 宏, 浅井政章 (1944): Dengue 熱患者の血清蛋白. 熱帯医学, **2**(1): 21.
- 河石九二夫 (1943): Dengue 熱の外科的合併症(会). 熱帯医学, **1**(5, 6): 618.
- 河石九二夫 (1944): 左手小筋麻痺を貽したる Dengue 熱症例(会). 日本医学, (3363): 156.
- 川村麟也 (1942): Dengue 熱病原の剖養(河野軍医大尉の功績). 日本医事新報, (1045): 2179-2180.
- 川村麟也, 福住定吉, 伊藤忠一, 伊東平八, 高木静治, 小畑義男 (1943): ラングーン型 Dengue 熱ウイルスの孵化鶏卵内の培養成績. 日本医学及健康保険, (3321): 335-342.
- 川西榮之祐 (1943): Dengue 熱の知識. 助産の葉, **48**(11): 7.
- 川瀬芳郎 (1943): Dengue 熱に於ける腸出血の一例. 実験医報, **29**年(7): 537.
- 川瀬芳郎 (1947): 昭和18年度に於ける Dengue 熱実験(会). 日本伝染病学会雑誌, **21**(1-3): 13.
- 川瀬芳郎, 倉西章補 (1943): Dengue 熱に於ける腸出血の一例. 臨床医報, **15**(9): 10.
- 河嶋 勇 (1943): 四日市市に於て診たる Dengue 熱の一例. 名古屋医学会雑誌, **57**(5): 566.
- 河内太郎 (1943): Dengue 熱ウイルスの動物前眼房内接種試験. 日本医学及健康保険, (3343): 1340.
- 木庭密樹 (1932): デング熱に於ける耳鼻咽喉科的領域の変化. 耳鼻咽喉科, **5**(1): 1.
- 木庭密樹 (1932): デング熱経過中併発せる急性乳嘴突起炎の一例. 耳鼻咽喉科, **5**(4): 310.

- 菊地清一郎(1943): Dengue 熱の観察(会). 岩手医学専門学校雑誌, 6(3-4): 203.
- 木本俊斉(1945): 昭和18年度神戸市流行 Dengue 熱の概況並に其動物実験. 日本医学, (3393): 945.
- 木本俊斉(1947): 昭和18年度神戸市流行 Dengue 熱の概況並に其動物実験(会). 日本伝染病学会雑誌, 21(1-3): 8.
- 木村男也(1942): Dengue, Pappatacifever (示説). 東北医学雑誌, 31(4): 438.
- 木村光雄(1944): 接種 Dengue 熱に於ける病毒材料並に免疫に関する研究. 臨牀と研究, 21(8): 531.
- 木村光雄, 久志本元也, 光富慎吾, 亀田五郎, 坂田 元(1949): Dengue 熱に関する研究(統報)(会). 日本内科学会雑誌, 38(4, 5): 159.
- 北村包彦(1942): Dengue 熱発疹の観察(会). 皮膚と泌尿, 10(5): 496.
- 北村包彦, 一瀬健吾(1943): Dengue 熱疹の組織学的所見(会). 長崎医学会雑誌, 21(12): 1271.
- 木村 廉(1943): Dengue 熱. 芝蘭会雑誌, 6(36): 1.
- 木村 廉, 堀田 進(1943): Dengue 熱の研究(5) マウス接種実験成績. 日本医学及健康保険, (3344): 1378-1379.
- 木村 廉, 堀田 進(1944): Dengue 熱の研究(6) マウス接種実験を中心として. 日本医学, (3379): 629-633.
- 木村 廉, 堀田 進(1944): Dengue 熱の研究(7) 能動免疫. 日本細菌学雑誌, 1(1): 96-99.
- 木村 廉, 堀田 進(1944): Dengue 熱の研究(8) 山羊免疫血清について. 日本医学, (3390): 877-879.
- 木村 廉, 堀田 進(1944): Dengue 熱の研究(9) マウス体内に於ける病毒の消長. 日本細菌学雑誌, 1(2): 206-211.
- 木村 廉, 堀田 進(1949): Dengue 熱に関する研究(会), 風土病研究(宮川米次編), p. 94, 日本医学雑誌・株, 東京.
- 木村 廉, 堀田 進(1957): Dengue 熱. 最新ウイルス・リケッチア学(田宮猛雄監修)(1), pp. 203-240, 医歯薬出版, 東京.
- 木村 廉, 東 昇, 赤澤一三(1942): Dengue 熱の研究(2) Dengue 熱病毒の孵化鶏卵内培養. 日本医学及健康保険, (3312): 2595-2599.
- 木村 廉, 東 昇, 赤澤一三(1944): 鶏卵脈絡尿膜へのDengue-Virus の培養(独文). *Jap. J. Med. Sci. VI Bacteriol. Parasitol.*, 2(4): 241-246.
- 木村 廉, 東 昇, 赤澤一三(1946): 家鶏卵脈絡尿膜にDengue-Virus の培養(独文). *Acta Sch. Med. Univ. Imp. Kyoto*, 26(1-4): 55.
- 木村 廉, 堀田 進, 徳田正夫(1951): Dengue 熱Virus の補体結合反応. 総合研究班研究報告集〔医学及び薬学〕学術月報別冊資料, (22): 245.
- 木村 廉, 田部井和, 東 昇, 赤澤一三(1943): Dengue 熱の研究(4) 孵化鶏卵内培養病毒の人体実験成績追加. 日本医学及健康保険, (3341): 1255-1256.
- 木村 廉, 東 昇, 赤澤一三, 松本節郎(1943): Dengue 熱の研究(3) 病毒の孵化鶏卵内培養及び人体実験成績. 日本医学及健康保険, (3335): 993-995.
- 木村 廉, 東 昇, 大塚一三, 堀田 進, 赤澤一三(1942): Dengue 熱の研究(1) 長崎市に於る Dengue 熱所見. 日本医学及健康保険, (3306): 2285-2286.
- Kimura, R., S. Hotta, T. Fujii, I. Tanabe, Y. Hashimoto, T. Inoue and T. Fujita (1955): The uptake of radioactive phosphorus into phosphorus compounds in the brains of virus-infected mice. *Experientia*, 11: 160-162.
- 木下良順, 宮地 徹(1944): Dengue 熱で死ぬ事もある, なぜか(示説). 日本臨牀, 2(9): 999-1002.
- 北野政次(1931): 我陸軍に於けるデング熱の統計的観察付昭和六年沖縄県下デング熱流行概況. 軍医団雑誌, (220): 1951.
- 北野忠彦(1979): ヒト胎児肺継代細胞(R-66)細胞によるデングウイルスのプラーク形成. 国立予防衛生研究所年報, 32: 121.
- 北野忠彦(1979): デングウイルスの熱不活化. 国立予防衛生研究所年報, 32: 121.
- 北岡正見, 清水 明, P. Tsuchinda, C. Kim-Anake (1971): Dengue 2型 Virus の電子顕微鏡的観察(英文). *Biken J.*, 14(3): 361-364.
- 清川安彦(1937): 亜熱帯(沖縄)に於ける小児疾患(2) 小児 Dengue 熱の統計的観察. 乳児学雑誌, 22(2): 273-303.
- 清川安彦(1943): Dengue 熱救護班の思出. 治療及處方, 24, 1冊: 89.
- 清川安彦(1943): Dengue 熱と緯度. 治療学雑誌, 13(1): 51.
- Ko, K. K. (1976): BHK 21細胞内でのデングウイルス増殖の電子顕微鏡による解析(英文)(会). *J. Electron Microsc.*, 25(3): 225.
- 洪 文治, 杜 詩綿, 高山宏一, 林 維新, 洪 毓崑(1944): 今期流行 Dengue 熱の耳鼻咽喉科に及ぼせる臨床的観察(会). 台湾医学会雑誌, 43(12): 887.
- Ko, K. K. (1976): BHK 21細胞における Dengue ウイルス4型の発育(英文). *Biken J.*, 19(2): 43-51.
- 黄 秀吉(1977): デングウイルス増殖の電子顕微鏡的研究(会). 関西医学大会雑誌, 29(2): 386-387.
- 小張一峰(1978): 世界の感染症多発地域. 黄熱・デング熱・ペスト・コレラ・マラリア. *Jap. Int. Med. Trib.*, 11(23): 25.
- 小林英一, 武田徳晴, 森下 薫(1943): Dengue 熱病原体の鶏卵内培養並に二十日鼠脳内接種成績. 日本医学及健康保険, (3319): 241-244.
- 小林英一, 武田徳晴, 森下 薫(1943): Dengue 熱病毒の鶏卵内培養及二十日鼠内接種成績(会). 熱帯医学, 1(5, 6): 619.
- 小林晴治郎(1942): Dengue 熱の我国内地に流行の可能性. 鮮満之医事, 2(9): 23.
- 小林茂雄(1942): 学校伝染病と Dengue 熱. 学校衛生, 22(10): 574.
- 小岩井龍策(1945): Dengue 熱血液に於て観察せる Plasma 細胞及び淋巴球. 臨牀と研究, 22(5): 297-301.
- 小泉 丹(1942): Dengue 熱研究の回顧. 日本医事新報, (1045): 2186.
- 小泉 丹, 山口謹爾, 殿村京造(1917): でんぐ熱ノ研究. 日新医学, 6年(6): 955-1004; 台湾医学会雑誌,

- (176) : 369-392 ; (177) : 432-463.
- 近藤佐太郎(1928) : 昨秋馬公部隊ニ流行セルでんぐ熱ニ就テ(会). 軍医團雑誌, (185).
- 河野通俊(1943) : Dengue 熱病毒の孵化鶏卵培養. 軍医團雑誌, (358) : 259-272.
- 河野通俊(1943) : Dengue 熱回復期患者血清の予防効果. 軍医團雑誌, (359) : 399.
- 河野通俊(1943) : Dengue 熱病毒の研究(1) Dengue 熱病毒の孵化鶏卵培養. 南方軍防疫給水部業報丙, (32) : 1.
- 河野 正(1943) : 熱帯に於けるマラリア, Dengue 熱及び結核患者の神経衰弱症並に二, 三植物神経反射の出現率. 実地医家と臨牀, 20(11) : 690.
- 衣川幸三, 廣瀬二郎吉(1943) : Dengue 熱. 診断と治療, 30(11) : 896.
- 厚生省衛生局(1943) : Dengue 熱. 日本医師会雑誌, 19(3) : 27.
- 厚生省衛生局(1943) : Dengue 熱. 医事公論, (1607) : 1338.
- 厚生省衛生局(1943) : Dengue 熱. 公衆衛生, 61(5) : 267.
- 厚生省衛生局(1943) : Dengue 熱の発生機転の症状と之が予防. 医界週報, (427) : 934.
- 高雄市堀江国民学校衛生部(1942) : 本校に於ける Dengue 熱流行の統計的觀察. 台湾学校衛生, 5(4) : 49.
- 木崎國嘉, 乾 成美(1947) : Dengue 熱患者の臨床的統計. 博愛医学, 1(5-8) : 201.
- 久保村雅夫(1943) : Dengue 熱に合併せる偏側混合性喉頭麻痺症例. 熱帯医学(台湾), 1(5, 6) : 613-614.
- 久保村雅夫(1943) : Dengue 熱に合併せる偏側混合性喉頭麻痺症例. 耳鼻咽喉科, 16(4) : 215.
- 久保村雅夫(1943) : (イ) 再び余等の行ふ軒に対する治療法, (ロ) Dengue 熱に合併せる混合性喉頭麻痺症例(会). 大日本耳鼻咽喉科会会報, 49(11) : 1048.
- 國友 昇(1942) : Dengue 熱に因る眼障害. 台湾の医界, 1(9) : 457.
- 國友 昇, 邱 林淵(1943) : Dengue 熱に因る眼障害(会). 熱帯医学(台湾), 1(5, 6) : 614.
- 國友 昇, 邱 林淵(1944) : Dengue 熱に因る結膜出血(会). 台湾医学会雑誌, 43(12) : 891.
- 國友 昇, 邱 林淵(1946) : デング熱に因る眼障害(1) 結膜発赤. 日本眼科学会雑誌, 50(10-12) : 68.
- 國友 昇, 邱 林淵(1947) : Dengue 熱に因る眼障害(2) 結膜出血. 日本眼科学会雑誌, 51(1, 2) : 16.
- 國友 昇, 邱 林淵(1948) : Dengue 熱に因る眼障害(3) 眼球痛. 日本眼科学会雑誌, 52(1, 2) : 6.
- 國友 昇, 邱 林淵(1948) : Dengue 熱に因る眼障害(4) 眼底変化. 日本眼科学会雑誌, 52(1, 2) : 6.
- 國友 昇, 邱 林淵(1948) : Dengue 熱に因る眼障害(5) 其他の変化及び総括. 日本眼科学会雑誌, 52(1, 2) : 7.
- 栗原 毅(1972) : デング熱と流行性出血熱. 熱帯の蚊と病気, pp. 66-68, 日本熱帯医学協会, 東京.
- 栗原 毅(1975) : 黄熱病とデング熱. 蚊の話, pp. 47-54, 北隆館, 東京.
- 楠元康雄(1933) : デング熱後に発せる調節異常の三例. 中央眼科医報, 25(7) : 744.
- 久志本元也(1949) : Dengue 熱病毒の尿中への排泄(会). 福岡医学雑誌, 40(3) : 174.
- 久志本元也(1953) : Dengue 熱病毒の尿中への排泄. 福岡医学雑誌, 44(5) : 382.
- 桑原惣栄(1941) : 内南洋に於ける Dengue 熱. 成医会雑誌, 60(7) : 958 ; (11, 12) : 1585.
- 桑島謙夫, 後藤壽作, 原東太郎(1943) : Dengue 熱に関する接種的研究(1) 家兎前眼房内接種実験. 日本医学及健康保険, (3325) : 531-534.
- 邱 林淵(1943) : Dengue 熱患者眼底変化(会). 台湾医学会雑誌, 42(1) : 79.
- 邱 林淵(1943) : Dengue 熱に因る眼障害(会). 綜合眼科雑誌, 48(4) : 503.
- Lucas, J. K. (1966) : Malaysia に於ける出血熱の最近の流行(英文)(会). *Abstracts of Papers of the 11th Pacific Science Congress*, 8 : 24-25.
- 真柄正直(1942) : Dengue 熱と産婦人科. 日本医学及健康保険, (3306) : 2286.
- 真柄正直(1942) : Dengue 熱と産婦人科. 台湾の医界, 1(9) : 453.
- 真柄正直(1942) : Dengue 熱と産婦人科. 日本医学及健康保険, (3306) : 2236.
- 真柄正直(1943) : Dengue 熱と産婦人科(会). 熱帯医学, 1(5, 6) : 617.
- 真柄正直, 謝 伯潜(1943) : Dengue 熱に依て異常経過を取った一妊娠例. 診療と経験, 7, 2冊 : 135.
- 牧野芳大, 三舟求真人(1975) : デングウイルス迅速定量法の感受性について(英文). 熱帯医学, 16(4) : 163-170.
- 牧野芳大, 三舟求真人(1975) : デングウイルスの増殖定量法に関する基礎的検討(会). 日本細菌学雑誌, 30(3) : 554.
- 丸吉一男, 金子 直(1944) : Dengue 熱病原体の動物接種実験(1) 海狸への接種試験(会). 日本病理学会会誌, 33 : 20.
- 松尾幸子, 三舟求真人, 林 薫(1979) : マウスにおけるデングウイルス感染(英文). 熱帯医学, 21(2) : 63-71.
- 松村武男(1971) : デング熱 Virus の電子顕微鏡觀察と其構造蛋白の解析(会). 日本細菌学雑誌, 26(8, 9) : 412-413.
- 松村武男, 堀田 進(1967) : Dengue 熱 Virus 赤血球凝集素(HA-nin)の粒子の性状(会). ウイルス, 17(5, 6) : 296.
- 松村武男, 堀田 進(1971) : 精製した Dengue virus (I 型)に関する電子顕微鏡的觀察(英文). *Kobe J. Med. Sci.*, 17(2) : 85-95.
- 松村武男, 山下 博(1978) : BHK-21培養細胞におけるデングウイルス放出の Ca^{++} イオン依存性(英文). *Microbiol. Immunol.*, 22(12) : 803-807.
- 松村武男, 白木和子, 堀田 進(1974) : デングウイルス感染 Vero 細胞のウイルス結晶構造に対する2価イオン効果(会). ウイルス, 24(3) : 251.
- 松村武男, V. Stollar, R. Schlesinger (1970) : Dengue 熱 Virus の VERO 細胞に於ける増殖の特異性(会). ウイルス, 20(2) : 107.
- 松村武男, 竹原 学, 堀田 進(1965) : Dengue 熱

- Virus 及び黄熱 Virus の血球凝集反応性(続報)(会). ウイルス, **15**(6): 226.
- 松村武男, 竹原 学, 堀田 進(1967): Dengue 熱及び黄熱 Virus の二, 三の基本的性質. 不等質性及び部分精製 Virus 粒子の性状(英文). *Kobe J. Med. Sci.*, **13**(4): 273-293.
- 松村武男ほか2名(1978): 培養細胞におけるデングウイルス感染の特異性—特にウイルスの放出機構を中心として—(会). 日本熱帯医学会雑誌, **6**(2): 115.
- 松村武男, 白木和子, 指方輝正, 堀田 進(1977): ヒト白血病由来白血球培養細胞におけるデング1型ウイルスの形態形成(英文). *Microbiol. Immunol.*, **21**(6): 329-334.
- 松永照太(1922): 大正11年11月12月トラック群島内ニ流行セルでんぐ熱ノ臨床的所見. 日本微生物学会雑誌, **16**(7): 721.
- 松永照太(1943): Dengue 熱の伝染(会). 第43回九州沖繩医学会会誌: 82.
- 松下兼知(1948): 液体病理学的に説明出来ぬ Dengue 熱の免疫. 長崎医学会雑誌, **23**(4): 198.
- 松浦武雄(1920): でんぐ熱ニ就テ. 日本微生物学会雑誌, **12**(4): 143-150.
- 三枝恵作(1910): でんぐ熱ニ就テ. 成医会月報, (338).
- 美原 博(1942): Dengue 熱の研究. 特に其免疫学的予防の問題(会). 海軍軍医会雑誌, **31**(11): 930.
- 美保静子(1943): Dengue 熱經過後に発せる中心性網膜炎の二列. 綜合眼科雑誌, **38**(6): 728.
- 三木利雄(1947): 部分誘導に依る臨床電気心働図の研究(1) Dengue 熱患者の部分誘導電気心働図. 日本循環器学誌, **11**(6, 7): 138.
- 美斉津標三(1932): 多種多型の症候を以て流行したデング熱の症候的観察(会). 皮膚科紀要, **19**(1): 54.
- 美斉津標三(1932): 多種多型の症候を以て流行したるデング熱の症候的観察. 皮膚科紀要, **20**(1): 44.
- 美斉津標三(1932): 多種多型の症候を以て流行したるデング熱の症候的観察(独文). *Acta Dermatol.*, **20**(3, 4): 89.
- 美坂兼照(1942): 東京に來た Dengue 熱. 臨牀の日本, **10**, 11冊: 1148.
- 操 坦道(1944): Dengue 熱の臨床. 治療, **26**(5): 199-218.
- 操 坦道(1944): 本邦に於ける Dengue 熱研究の現況(総説). 実地医家と臨牀, **21**(2): 88.
- 操 坦道(1945): Dengue 熱の免疫. 日本臨牀, **3**(7): 156.
- 操 坦道(1948): Dengue 熱. 日本内科学会雑誌, **37**(2, 3): 29-40.
- 操 坦道(1949): Dengue 熱病毒の猿接種実験(2)(会). 風土病研究(宮川米次編), p. 93, 日本医学雑誌・株, 東京.
- 操 坦道, 衛藤 仁(1945): Dengue 熱病毒の孵化鶏卵内培養(会). 臨牀と研究, **22**(12): 420.
- 操 坦道, 衛藤 仁(1949): Dengue 熱病毒の孵化鶏卵内培養(会). 風土病研究(宮川米次編), p. 92, 日本医学雑誌・株, 東京.
- 操 坦道, 衛藤 仁(1949): Dengue 熱病毒の孵化鶏卵内培養(会). 日本伝染病学会雑誌, **23**(1, 2): 20.
- 操 坦道, 原田義道(1949): Dengue 熱病毒接種患者及び猿に於ける新鮮血液標本の観察(会). 風土病研究, **92**.
- 操 坦道, 原田義道(1949): Dengue 熱病毒接種猿実験(会). 日本伝染病学会雑誌, **23**(1, 2): 19.
- 操 坦道, 石原 國(1945): Dengue 熱(4) 蚊族の空輸に関する実験. 臨牀と研究, **22**(11): 386.
- 操 坦道, 木村光雄(1946): Dengue 熱(8) Dengue 熱の病毒保有期間. 臨牀と研究, **23**(5): 143-145.
- 操 坦道, 山田 弘(1944): Dengue 熱に関する研究(6) Dengue 熱病毒のマウス接種実験. 日本医学, (3399): 1069-1072.
- 操 坦道, 山田 弘(1945): Dengue 熱(3) マウス体内に於ける病毒の分布. 臨牀と研究, **22**(9, 10): 355.
- 操 坦道, 山田 弘(1946): Dengue 熱に関する研究(8) マウス体内に於ける病毒の分布. 日本医学, (3402): 48.
- 操 坦道, 山田 弘(1946): Dengue 熱(9) マウス内臓諸臓器の病理解剖学的並に組織学的所見. 臨牀と研究, **23**(6): 201.
- 操 坦道, 木村光雄, 久志本元地(1948): Dengue 熱に於ける病毒の体外排泄(会). 日本細菌学雑誌, **3**(4): 118.
- 操 坦道, 木村光雄, 光富慎吾(1950): Dengue 熱病毒の媒介蚊体内に於ける消長(会). 日本伝染病学会雑誌, **24**(1-4): 9.
- 操 坦道, 木村光雄, 坂田 元(1950): Dengue 熱のKaolin 吸着抗原による沈降反応(会). 日本伝染病学会雑誌, **24**(1-4): 9.
- 操 坦道, 山田 弘, 近郷獎太郎(1944): Dengue 熱に関する研究(5) Dengue熱病毒脳内接種マウスの中樞神経系の病理組織学的所見. 日本医学, (3379): 633-639.
- 操 坦道, 山岡憲二, 木村光雄(1943): Dengue 熱に関する研究(3) 特殊材料(唾液, 淋巴線)並に特殊経路(経気道, 経眼結膜)に依る感染試験. 日本医学及健康保険, (3350): 1617.
- 操 坦道, 石原 國, 新藤文男, 小林祥介(1946): Dengue 熱(6) 福岡市内防火用水槽に於ける 孳の調査成績並に其撲滅対策. 臨牀と研究, **23**(2): 32-35.
- 操 坦道, 山岡憲二, 木村光雄, 服部絢一(1945): Dengue 熱(1) 流行時並に実験的再感染. 臨牀と研究, **22**(3): 167-170.
- 操 坦道, 山岡憲二, 木村光雄, 服部絢一(1946): Dengue 熱(7) Dengue 熱病毒を以てする発熱療法. 臨牀と研究, **23**(4): 110-113.
- 操 坦道, 山岡憲二, 木村光雄, 黒川 登(1945): Dengue 熱(2) 昭和19年呉市に於ける Dengue 熱流行並に其予防対策. 臨牀と研究, **22**(4): 259-262.
- 操 坦道, 石原 國, 木村光雄, 新藤文男, 安川壽一(1947): Dengue 熱(12) 九州諸港湾都市防火用水槽内棲息孳の調査成績. 臨牀と研究, **24**(3): 109-114.
- 操 坦道, 金久卓也, 山田 弘, 衛藤 仁, 原田義道(1946): Dengue 熱(10) Dengue 熱病毒の猿接種実験(臨床篇). 臨牀と研究, **23**(9): 401-405.
- 操 坦道, 木村光雄, 服部絢一, 林 武男, 小山利武(1945): Dengue 熱(5) 長崎市に於ける最近3ヶ年間の流行に際し観察せる反復感染. 臨牀と研究, **22**

- (12) : 416.
- 操 坦道, 山岡憲二, 石原 國, 光野 儀, 木村光雄 (1944) : Dengue 熱に関する研究(4) 昭和18年秋福岡市に流行せる Dengue 熱, 付 Dengue 熱予防対策に関する考察. 日本医学, (3367) : 265-270.
- 操 坦道, 山岡憲二, 山田 泰, 石原 國, 木村光雄 (1950) : Dengue 熱研究 (英文). *Kyushu Mem. Med. Sci.*, 1(1) : 47.
- 操 坦道, 金久卓也, 山田 弘, 衛藤 仁, 原田義道, 坂根春雄, 白石 通(1947) : Dengue 熱(11) Dengue 病毒の猿接種実験 (病理篇). 臨牀と研究, 23(11) : 527-533.
- 操 坦道, 光野 儀, 岩倉源駒, 山岡憲二, 小岩井龍策, 一瀬仁郎, 山田 泰, 久志本元也(1943) : Dengue 熱に関する研究 (会). 日本内科学会雑誌, 31(4) : 240.
- 操 坦道, 山岡憲二, 山田 泰, 光野 儀, 小岩井龍策, 一瀬仁郎, 岩倉源駒, 久志本元也(1943) : Dengue 熱に関する研究(1) Dengue 熱病毒の孵化鶏卵内培養. 日本医学及健康保険, (3321) : 342-344.
- 操 坦道, 山岡憲二, 山田 泰, 光野 儀, 小岩井龍策, 久志本正也, 岩倉源駒, 一瀬仁郎(1943) : Dengue 熱に関する研究(2) 海狸腹腔内接種実験. 日本医学及健康保険, (3335) : 995.
- 操 坦道, 山岡憲二, 山田 泰, 光野 儀, 小岩井龍策, 久志本元也, 岩倉源駒, 一瀬仁郎(1943) : Dengue 熱の臨床的観察(1) 昭和17年長崎市に於ける流行に際する Dengue 熱患者に就ての観察. 実地医家と臨牀, 20(4) : 220-226.
- 操 坦道, 山岡憲二, 山田 泰, 光野 儀, 小岩井龍策, 久志本元也, 岩倉源駒, 一瀬仁郎(1943) : Dengue 熱の臨床的観察(2) Dengue 熱病毒接種に依る発熱療法. 実地医家と臨牀, 20(6) : 341-348.
- 光富慎吾(1950) : Dengue 熱病毒の媒介蚊体内に於ける消長(会). 福岡医学雑誌, 41(3) : 220.
- 光富慎吾(1952) : Dengue 熱病毒の媒介蚊体内に於ける消長. 福岡医学雑誌, 43(5) : 340.
- 宮川米次(1942) : Dengue 熱の経過, 特性及び主要症状. 実験医報, 29年(1) : 61-65.
- 宮川米次(1942) : Dengue 熱の臨床. 日本医事新報, (1045) : 2181.
- 宮川米次(1943) : Dengue 熱の臨床. 日本医事新報, (1092) : 1645.
- 宮川米次(1943) : Dengue 熱の臨床. 現代之獣医界, 38(10) : 10.
- 宮島幹之助(1943) : Dengue 熱対策(総説), 日本医学及健康保険, (3345) : 1419.
- 宮永主基男, 山下 忠(1943) : Dengue 熱の血液所見(会). 満州医学雑誌, 39(4) : 675.
- 宮尾 績(1931) : 昭和六年沖繩県下に流行せる Dengue 熱. 海軍軍医会雑誌, 20(6) : 564.
- 宮尾 績(1931) : Dengue 熱調査雜観(座談). 実験医報, (204) : 1625.
- 宮尾 績(1942) : Dengue 熱の診断と治療及之が最近に於ける研究の趨勢. 海軍軍医会雑誌, 31(12) : 1079.
- 宮尾 績(1943) : Dengue 熱の診断と治療及び之が最近に於ける研究の趨勢. 医界週報, (414) : 333 ; (415) : 379.
- 宮崎五郎(1944) : Dengue 熱の血液細胞学的知見特に其胸骨骨髓機能. 海軍軍医会雑誌, 33(4) : 419.
- 宮田彝徳(1942) : 防火用水槽内に發育せる蚊の種属とその発生状況. 日本医学及健康保険, (3306) : 2297-2399.
- 森 泰樹(1942) : Dengue 熱の感染経路(会). 名古屋医学雑誌, 55(4) : 620.
- 森川義重(1943) : Dengue 熱(会). 皮膚科紀要, 41(4) : 263.
- 森下 薫(1925) : でんぐ熱ト蚊トノ關係ニ関スル知見ノ變遷及現況. 台湾医学会雑誌, (347) : 945-959.
- 森下 薫(1931) : Dengue 熱, 特に近代に於ける其研究(一) 実験的 Dengue 熱, 免疫及び臨床並に流行学的事項. 台湾医学会雑誌, 30(9) : 1003, 1017 ; (11) : 1318-1333.
- 森下 薫(1942) : 泰国盤谷在住邦人の Dengue 熱罹患状況に関する小観察. 台湾の医界, 1(6) : 278.
- 森下 薫(1942) : 泰国盤谷在住邦人の Dengue 熱罹患状況に関する小観察. 日本医学及健康保険, (3292) : 1561.
- 森下 薫(1943) : Dengue 熱の病原体と伝播者(総説). 熱帯医学(台湾), 1(2) : 167-188.
- 森下 薫(1944) : 我国に於ける Dengue 熱研究の展望. 台湾の医界, 3(9) : 415.
- 森下 薫(1944) : Dengue 熱の免疫問題, 台湾の医界, 3(9) : 420.
- 森下 薫(1944) : Dengue 熱の免疫問題. 治療学雑誌, 14(1) : 18.
- 森下 薫(1978) : Dengue 熱伝播者を追う人達一蚊媒介説の確立へー. 予防医学を基礎づけた人々ー自体実験の勇者たちー, pp. 39-56, 大阪予防医学協会, 大阪.
- 森下哲夫(1943) : 上海及び杭州のヒトスズメバチ蚊特に Dengue 熱流行との関係. 同仁会医学雑誌, 17(6) : 371.
- 村上勝美(1943) : 小児 Dengue 熱(台北に於ける経験). 診断と治療, 30(4) : 341.
- 村上勝美(1951) : Vogt 病 (Status marmoratus) (Dengue 熱に依て死亡した Little 病の一例). 小児科臨牀, 4(10) : 29.
- 村上勝美, 福田 凌, 鐘 有成, 許 瑞雲, 吳 安瀾(1943) : 台北地方に於ける Dengue 熱に関する疫学的症候学的調査, 主として年齢の差異. 日本医学及健康保険, (3334) : 950.
- 永井 汎(1943) : Dengue 熱に依る聾(会). 大日本耳鼻咽喉科会会報, 49(7) : 667.
- 長野泰一 (1943) : Dengue 熱. 医学の進歩, 1輯 : 273.
- 長尾五一(1942) : 長崎市に流行せる Dengue 熱の調査概況報告. 医界週報, (401) : 2105 ; (402) : 2155 ; (403) : 2202.
- 長尾五一(1943) : Dengue 熱. 医界週報, (414) : 343 ; (415) : 318.
- 長尾五一(1943) : 軍陣医学上より観たる Dengue 熱. 日本医事新報, (1092) : 1648.
- 長尾五一(1943) : Dengue 熱の臨床. 医事公論, (1618) : 1937.
- 長尾五一, 太田彌石(1943) : 長崎市内に流行せる Dengue 熱臨床所見の統計的観察. 軍医團雑誌, (359) :

- 367-380.
- 長岡由多加(1945): Dengue 熱予防接種. 軍医團雑誌, (378): 41.
- 南崎雄七(1943): Dengue 熱の防疫. 日本医事新報, (1092): 1650.
- 南崎雄七, 館林宣夫(1942): 今夏内地に流行の Dengue 熱. 日本医事新報, (1045): 2180.
- 中 修三(1942): Dengue 熱後の精神異常. 台湾の医界, 1(9): 460.
- 中 修三, 勝田英夫(1944): Dengue 熱と精神神経障害(講義). 台湾の医界, 3(9): 473.
- 中田五一(1942): 防火用水槽内に生育する蚊(予報)付 Dengue 熱防遏に関する考察. 日新医学, 31年(12): 917.
- 中川 洋(1953): Dengue 熱病原体に関する研究 Dengue 熱 virus の精製 (10の1). *Virus*, 3(1): 6-11.
- 中川 洋, 新宮正久(1956): Dengue 熱 virus の赤血球凝集反応の研究(1) 赤血球凝集反応の条件と性質. *Kurume Med. J.*, 2(3): 157-165.
- 中川 洋, 新宮正久(1957): Dengue 熱病原体に関する研究(11) Dengue 熱 virus 精製(2) Dengue 熱 virus の電子顕微鏡像. *Virus*, 7(3): 190-198.
- 中川 洋, 新宮正久(1958): Dengue 熱病原体に関する研究(12) Dengue 熱 virus の1日孵化鶏卵培養. ウイルス, 8(2): 118-120.
- 中川 洋, 中村昌弘, 橋本勝之(1953): Dengue 熱 Virus の精製に関する研究(1) 沈澱剤に依る精製(会). *Virus*, 3(3): 237.
- 中川 洋, 橋本勝之, 新宮正久(1956): Dengue 熱 Virus の血球凝集反応に関する研究(3)(会). 久留米医学会雑誌, 19(3): 627.
- 中川 洋, 中村昌弘, 赤司瞭雄, 新宮正夫(1954): Virus の精製並に Dengue 熱 virus の血球凝集反応に関する研究(会). *Virus*, 4(3): 286.
- 中川 洋, 柳 駿, 泉力三郎, 馬淵秀晴(1944): Dengue 熱病原体に関する研究(会). 日本医学, (3370): 393.
- 中川久男, 清川安彦(1942): Dengue 熱患者血液. 診断と治療, 29(11): 1167-1185.
- 中川久男, 清川安彦(1943): Dengue 熱の実験的研究. 日新医学, 31年(11): 845.
- 中村泰吉(1942): Dengue 熱とブヨ. 日本医事新報, (1045): 2188.
- 中邑友一, 七条明久, 林 薫(1977): デングウイルス感染細胞の免疫リンパ球による障害(会). 日本細菌学雑誌, 32(2): 429.
- 中村 譲(1942): Dengue 熱の後遺症としての精神病. 台湾の医界, 1(9): 464.
- 中西定典(1949): Dengue 熱による眼障害(会). 博愛医学, 2(4-6): 174.
- Sriurairatha, S., Natth-Bhamarapravati, S. Onishi (1974): デング 3 型ウイルス感染マウスのニューロンにおける線維様構造物(英文). *Biken J.*, 17(4): 183-191.
- 中山一郎(1972): デング熱流行地への日本よりの移住者の発症とその伝播蚊について(会). 熱帯, 7(1): 63-64.
- 新居志郎, 内藤継也, P. Tuchinda(1970): Dengue virus 持続感染 LLCMK 2 細胞の結晶様及び薄層様構造(英文). *Biken J.*, 13(1): 43-51.
- 二木忠實(1944): Dengue 熱と月経. 産科と婦人科, 12(3): 111.
- 二木忠實(1944): Dengue 熱の月経に及ぼす影響. 長崎医学会雑誌, 22(4): 772.
- 新山忠一(1932): 鹿児島市内に発生せるデング熱. 鹿児島医学雑誌, 9年(1): 6.
- 野辺地慶三(1942): Dengue 熱の疫学一斑. 日本医事新報, (1045): 2186.
- 野淵 紘(1979): 中国医学原典に記載されるデング熱の症候について. 漢方の臨, 26(5): 422-425.
- 野村精策(1941): Dengue 熱. 日本医事新報, (967): 1126.
- 野村精策, 赤司和嘉(1931): デング熱に因る出血死. 台湾医学会雑誌, 30(10): 1154-1156.
- 野村精策, 赤司和嘉(1931): 本年流行のデング熱(会). 台湾医学会雑誌, 30(12): 1516.
- 小原博亨(1947): Dengue 熱の眼痛の統計的観察(会). 眼科臨牀医報, 40(11, 12): 228.
- 小原博亨(1949): Dengue 熱の眼痛. 臨牀眼科, 3(6): 242.
- 小原博亨(1979): デング熱の上鞏膜炎様所見(会). 眼科臨牀医報, 73(9): 1180-1181.
- 落合國太郎, 戸谷徹造, 亀井輝美, 河合啓次郎(1943): 昭和18年夏名古屋市に発生せる Dengue 熱患者並に其防疫処置(会). 名古屋医学会雑誌, 58(5): 597.
- 落合國太郎, 戸谷徹造, 亀井輝美, 河合啓次郎(1944): 昭和18年夏名古屋市に発生せる Dengue 熱患者並に其防疫的処置. 日本医学, (3360): 23-25.
- 小田俊郎(1943): Dengue 熱の臨床に関する研究(会). 台湾医学会雑誌, 42(1): 78.
- 小田俊郎(1944): 今夏流行せる Dengue 熱の臨床経験. 台湾の医界, 3(9): 450.
- 小田俊郎, 許 成仁, 玉岡郁夫(1944): 今夏流行せる Dengue 熱の臨床経験(会). 台湾医学会雑誌, 43(12): 890.
- 緒方規雄(1946): Dengue 熱病毒 Virus. 臨牀内科小児科, 1(1): 23.
- 緒方規雄, 橋本治雄(1944): Dengue 熱病毒の体外に於ける生存期間並に其保存法. 日本医学, (3379): 639-641.
- 緒方規雄, 橋本治雄(1944): Dengue 熱病毒の動物実験並に其不顕性感染. 日本医学, (3379): 641-647.
- 緒方規雄, 橋本治雄(1944): 実験的 Dengue 熱に於ける免疫性. 日本医学, (3379): 641-644.
- 緒方規雄, 吉井宗武(1942): Dengue 熱病毒を以ての発熱療法. 日本医学及健康保険, (3311): 2544-2546.
- 緒方規雄, 吉井宗武(1943): 長崎市に流行せる Dengue 熱(会). 衛生学伝染病学雑誌, 38(1-4): 118.
- 緒方規雄, 吉井宗武(1943): Dengue 熱患者血清の Weil-Felix 反応. 日本医学及健康保険, (3316): 89-91.
- 緒方規雄, 吉井宗武(1943): Dengue 熱病毒の分離, 保存及び性状に関する研究. 日本医学及健康保険, (3338): 1124-1128.

- 緒方隆幸(1970): Dengue 熱の流行. 熱帯, 4(4): 29-35.
- 緒方隆幸, 清水 明, 北岡正見(1966): Dengue 熱 Virus の組織培養と哺乳マウス脳型 Dengue 熱 Vaccin. 国立予防衛生研究所年報, 19: 60.
- 緒方隆幸, 米山悦子, 大谷 明(1979): タイ国北部の住人の Dengue 及び日本脳炎に対する抗体調査. 国立予防衛生研究所年報, 32: 119.
- 緒方隆幸, 松尾悦子, 江下優樹, 栗原 毅(1978): *Aedes riversi* の Dengue virus に対する感受性. 国立予防衛生研究所年報, 31: 89-90.
- 小口武久(1948): Dengue 熱に併発した円板状角膜炎. 眼科臨牀医報, 42(6): 143.
- 小栗一好, 村江通之, 小林和夫, 金内孝三, 小竹 潔, 太田原幸人, 太田原豊一, 六反田藤吉, 徳田三士, 伊津野保, 道家 直, 田上泰雄(1947): 天草牛深町に流行した Dengue 熱の調査報告. 熊本医科大学衛生学教室研究報告, 1.
- 大場正道(1943): Dengue 熱病毒の人体接種実験. 衛生学伝染病雑誌, 38(11, 12): 351-367.
- 大橋東一(1909): でんぐ熱? の一実験. 好生館医事研究会雑誌, 16(1).
- 太田原豊一, 六反田藤吉, 高山吉晴, 楠田憲一, 伊津野保, 小栗一好, 金子正次, 伊藤孝三, 小竹 潔(1943): Dengue 熱に関する研究(梗概)(1) Dengue 熱病毒の猿接種試験. 日本医学及健康保険, (3326): 575.
- 大井 司(1942): 今年の高雄に流行せる Dengue 熱. 台湾の医界, 1(9): 443.
- 大井 司(1943): 本夏高雄地方に於ける Dengue 熱の流行状況並に臨床的主要症状(会). 台湾医学雑誌, 42(1): 79.
- 大井 司(1943): 昭和17年夏, 台湾を風靡せる Dengue 熱特に高雄地方の流行状況並に臨床的主要症状. 台湾医学会雑誌, 42(6): 734.
- 大川 昇(1931): 嘉義地方に於ける Dengue 熱特に其血液所見. 台湾医学会雑誌, 30(12): 1515.
- 大川 昇(1932): 嘉義地方に於ける Dengue 熱, 殊に其血液所見. 熊本医学会雑誌, 8(9): 990.
- 大森憲太, 柴田 實(1942): Dengue 熱. 診断と治療, 29(11): 1161.
- 大森南三郎(1942): Dengue 熱伝播蚊の生態と其駆除付(1) 泰国に於ける *Aedes* 類の発生状況及び其防除法(2) 台北市内に於けるヒトスデシマカの発生状況と其防除. 台湾の医界, 1(6): 226-277.
- 大森南三郎(1944): Dengue 熱撲滅に対する私見. 台湾の医界, 3(9): 430-440.
- 大森南三郎(1946): Dengue 熱の予防対策, 23pp., 新日本昆虫研究会.
- 大野兼弘(1944): 小児と Dengue 熱. 台湾の医界, 3(9): 468.
- 大西益太郎(1935): Dengue 熱黄疸並に其ヤクリトン療法. 治療薬報, (395): 20.
- 大西益太郎(1937): 南洋 Rota 島に於ける Dengue 熱流行の臨床的観察並に Dengue 熱性黄疸(会). 日本伝染病学会雑誌, 11(9): 961.
- 大西益太郎(1938): 南洋 Rota 島に於ける Dengue 熱流行の臨床的観察並に Dengue 熱性黄疸. 東北医学雑誌, 22(5): 575-594.
- 大島芳生(1952): Dengue 熱. 治療, 34(7): 682.
- 大城俊彦(1942): 昭和17年神戸市に流行の Dengue 熱(講演). 兵庫医学, 8(3): 203.
- 大城俊彦(1942): 昭和17年神戸流行の Dengue 熱(1) 系統及伝播. 日本医学及健康保険, (3306): 2290-2292.
- 大城俊彦(1942): 昭和17年神戸市流行 Dengue 熱の疫学的並に臨床的観察. 日本伝染病学会雑誌, 77(9): 64-70.
- 大城俊彦(1943): 昭和17年神戸市流行 Dengue 熱の疫学的並に臨床的観察(会). 日本伝染病学会雑誌, 17(9): 592.
- 大谷彬亮(1931): Dengue 熱. 医学輯覧, (75): 171.
- 大山昭夫, 山田隆巳, 栗井譽祐, 竹原 学, 藤田宣哉, 堀田 進(1960): Dengue 熱 virus の組織培養に関する研究(会). ウイルス, 10(1): 45.
- 大山昭夫, 五十嵐章, 万谷雅宣, 内藤継也, P. Tuchinda, 深井孝之助(1967): Dengue 熱 virus 感染組織の形態的研究(会), ウイルス, 17(5-6): 316-317.
- 岡田逸三(1942): Dengue 熱. 日本医事新報, (1045): 2188.
- 岡本 豊(1940): Dengue 熱, マラリア, 発疹熱の体験. 日本医事新報, (952): 4409.
- 沖縄県衛生課(1931): 昭和六年沖縄県に流行せる Dengue 熱状況報告, 特に蚊族分布, 蚊張数並に飲用水との関係. 日本公衆保健協会雑誌, 7(12): 511.
- 沖縄県立沖縄病院(1943): 目下沖縄に流行しつつある Dengue 熱の臨床的観察(会). 第43回九州沖縄医学会誌, 83.
- 奥野 剛(1966): Thai 出血熱 (Thai hemorrhagic fever) に関する Virus 免疫学的研究の現状(会). 熱帯医学会報, 7(1): 33-39.
- Okuno, Y., A. Igarashi, K. Fukai (1978): ペルオキシダーゼ-抗ペルオキシダーゼ染色を用いたフォーカス減少法による Dengue ウイルス, 日本脳炎ウイルスの中和試験(英文). *Biken J.*, 21(4): 137-147.
- 奥野良信, 五十嵐章, 深井孝之助(1979): フォーカス計数法による Dengue ウイルス感染の診断. 組織培養, 5(3): 76-85.
- 奥野良信, 笹尾芙蓉子, 福永利彦, 深井孝之助(1976): 酵素抗体法による Dengue ウイルス 4 型の迅速感染価測定法(会). ウイルス, 26(3, 4): 200.
- Okuno, Y., F. Sasao, T. Fukunaga, K. Fukai (1977): PAP (peroxidase-anti-peroxidase) 染色法を用いた Dengue 4 型ウイルス感染価の迅速測定 (英文). *Biken J.*, 20(1): 29-33.
- 小野興作(1944): Dengue 熱の一剖検例. 臨牀と研究, 21(9): 586.
- 箆島四郎(1942): 長崎市に流行中の Dengue 熱の臨床的観察. 日本医学及健康保険, (3307): 2351; 日本医事新報, (1054): 2646.
- 箆島四郎(1942): 昭和17年長崎市に流行せる Dengue 熱の臨床的観察. 日本伝染病学会雑誌, 77(9): 63-64.
- 箆島四郎(1943): 昭和17年長崎市に流行せる Dengue 熱の臨床的観察. 診断と治療, 30(4): 315.
- 箆島四郎(1943): 昭和17年長崎市に流行せる Dengue 熱の臨床的観察(会). 日本伝染病学会雑誌, 17(9): 591.
- 箆島四郎(1973): Dengue 熱の臨床. 長崎大学医学部第2内科発行.

- 箴島四郎, 吉永輝之(1943): Dengue 熱より敗血症に移行せりと思はるる一症例(臨床的所見). 長崎医学会雑誌, **21**(12): 1270-1271.
- 箴島四郎, 高橋 博(1950): Dengue の臨床的觀察(会). 日本内科学会雑誌, **35**(12): 64.
- 箴島四郎, 吉永輝之, 四熊知方(1947): Dengue 熱より敗血症に移行せりと思はるる一症例(会). 日本伝染病学会雑誌, **21**(1-3): 11.
- 箴島四郎, 四熊知方, 吉永輝之, 福田正四郎, 芳賀日出男, 横山 近, 上村昌生(1943): 本年流行の Dengue 熱に関する臨床的觀察(会). 長崎医学会雑誌, **21**(12): 1270.
- 大谷 明(1978): アジアの疾病(52) デングおよびデング性出血熱(その1). 中外医薬, **31**(3): 128-131.
- 大谷 明(1978): アジアの疾病(53) デングおよびデング性出血熱(その2). 中外医薬, **31**(4): 184-187.
- 大谷 明(1978): デングおよびデング出血熱. アジアの疾病(佐々学編), pp. 182-192, 新宿書房, 東京.
- 大谷 明, 奥野 剛(1967): アルボウイルス. ウイルス実験学各論(国立予防衛生研究所学友会編), pp. 100-123, 丸善, 東京.
- 大谷 明, 佐久本治子, 小林正美, 山田正篤(1963): 豚腎継代細胞の Dengue 熱 virus に対する感受性(会). ウイルス, **13**(5, 6): 156.
- 大谷 明, 佐久本治子, 小林正美(1964): Dengue 熱 Virus の Plaque に関する研究. 国立予防衛生研究所年報(昭和38年度), 79-80.
- 大谷 明, 佐久本治子, 野島とみゑ(1963): Dengue 熱 Virus に由る組織培養 Plaque の証明. 国立予防衛生研究所年報(昭和37年度), 101.
- 小澤芳治(1954): 電子顕微鏡を以てする Dengue 熱 virus の研究(英文). *Yokohama Med. Bull.*, **5**(2): 72-75.
- Quina, M. A. ほか5名(1978): 日本脳炎ワクチン接種前後のデング熱及び日本脳炎抗体のプロファイル(英文)(会). 日本熱帯医学会雑誌, **6**(2): 151-152.
- 李 道隆(1942): Dengue 熱に伴ひたる胃出血例及び目下台湾南部地方に大流行中の該疾患の臨床的, 統計的觀察. 日新医学, **31**年(21): 961; 内科及小児科, **2**(11): 1001; 台湾の医界, **1**(8): 383.
- 陸軍軍医学校調査班(1943): 長崎市に流行せる Dengue 熱調査報告. 軍医団雑誌, (358): 235.
- Rosen, L. (1967): フランス領ポリネシアに於ける最近の Dengue 発生(英文). *Jap. J. Med. Sci. Biol.*, **20**(Suppl.): 67-69.
- Rosen, L. (1966): French Polynesia の Dengue 熱の発生(英文)(会). *Abstracts of Papers of the 11th Pacific Science Congress*, **8**: 18.
- Rudnick, A., N. Marchette, R. Garcia (1967): 密林 Dengue の可能性最近の研究と仮説(英文). *Jap. J. Med. Sci. Biol.*, **20** (Suppl.): 67-74.
- Russell, P. K. (1966): Dengue 熱 Virus の分離同定及び組織培養(英文)(会). 熱帯医学会報, **7**(1): 43-45.
- Russell, P. K., S. Udomsakdi, S. B. Halstead (1966): Dengue 及 Dengue 出血熱に於ける抗体 Response(英文)(会). *Abstracts of Papers of the 11th Pacific Science Congress*, **8**: 28.
- Russell, P., S. Udomsakdi, S. Halstead (1967): Dengue 及 Dengue 出血熱に於ける抗体(英文). *Jap. J. Med. Sci. Biol.*, **20** (Suppl.): 103-108.
- Rudnick, A., N. J. Marchette, R. Garcia(1966): 蚊媒介出血熱. Dengue 熱及び Chikungunya virus—森林 Dengue 熱—最近の研究及び仮説(英文)(会). *Abstracts of Papers of the 11th Pacific Science Congress*, **8**: 19.
- 劉 建榮(1978): デング日本脳炎ウイルス感染離乳マウスにおけるマウス血清インターフェロンおよびインターフェロン誘発因子の影響(英文). *Kobe J. Med. Sci.*, **24**(3): 153-163.
- 西條良雄(1944): Dengue 熱に対する Sulfapyridin の効果. 北越医学会雑誌, **59**年(9): 1206.
- 坂田 元(1950): Dengue 熱の Kaolin 吸着抗原に依る沈降反応(会). 福岡医学雑誌, **41**(1): 65.
- 坂田 元(1952): Dengue 熱の Kaolin 吸着抗原に依る沈降反応. 福岡医学雑誌, **43**(5): 352.
- 坂上弘蔵(1905): でんぐ熱菌第二回報告. 細菌学雑誌, (118).
- 酒井 潔(1943): 小児期の Dengue 熱(会). 熱帯医学(台湾), **1**(5, 6): 618.
- 酒井 潔, 陳 炳梅(1944): 小児科に於ける Dengue 熱の臨床経験(会). 台湾医学会雑誌, **43**(12): 887.
- 酒井 潔, 陳 炳梅(1944): 小児 Dengue 熱の臨床経験. 台湾の医界, **3**(9): 459.
- 酒井 正(1938): 各寄港地に於ける猩紅熱, ゼフテリー, 百日咳, デング熱の予防法. 海軍軍医会雑誌, **27**(1): 67.
- 櫻井 博(1943): Dengue 熱に於ける血液像, 殊に初熱発時に於ける鑑別診断的特徴の把握. 南方軍防疫給水部業報丙, (24): 1.
- 佐藤八郎(1943): Dengue 熱の Vitamin C 代謝(会). 熱帯医学, **1**(5, 6): 616.
- 佐藤八郎(1944): Dengue 熱患者に対する統計的觀察(会). 台湾医学会雑誌, **43**(12): 889.
- 佐藤八郎(1949): Dengue 熱の臨床的に二, 三の疫学的觀察. 鹿児島医学専門学校学術報告, (5): 27.
- Sarkar, J. K. (1966): Calcutta に於ける出血熱及び Chikungunya 熱の流行(英文)(会). *Abstracts of Papers of the 11th Pacific Science Congress*, **8**: 24-25.
- 斉藤忠雄(1932): デング熱殊に其ヘモグラム. 東京医事新誌, (2767): 565; (2768): 655.
- 佐々 学(1944): 東京地方に於ける *Aedes* 蚊殊にヒトスゲシマ蚊の生態並に Dengue 熱媒介性に関する研究. 海軍軍医会雑誌, **33**(1): 50-55.
- 佐々 学(1944): ネットイシマカに関する研究. 海軍軍医会雑誌, **33**(10): 1083-1085.
- 佐々 学(1946): Dengue 熱, マラリアと其予防. 伝染病を媒介する鼠族昆虫撲滅指針総合医学, **2**回特別号: 49.
- 佐々 学(1959): デング熱. 日本の風土病, pp. 129-134, 法政大学出版局, 東京.
- 佐々 学, 上村 清(1971): 日本の蚊の分類に関する索

- 引と考察. 衛生動物学の進歩 (第1集) (佐々学編), pp. 1-47, 啓学出版, 東京.
- 佐々学, 海老沢功, 神田鍊蔵(1967): デング熱・流行性出血熱. 熱帯病学, pp. 52-60, 東京大学出版会, 東京.
- 佐々学, 栗原毅, 上村清(1976): 蚊の科学, 312 pp., 北隆館, 東京.
- 佐々木寛(1943): 昭和17年沖縄に流行せる Dengue 熱の耳鼻咽喉科的所見. 実地医家と臨牀, 20(12): 779.
- 佐々木國勲(1954): 昭和27年夏台北に於ける Dengue 熱流行に際しての経験. 新潟医学会雑誌, 68年(8): 706.
- 佐々木武雄(1943): 仏印交趾支那サンジャック地区に於ける Dengue 熱の臨床的観察. 軍医團雑誌, (358): 301.
- 笹尾芙蓉子, 五十嵐章, 深井孝之助(1980): *Aedes albopictus* クローン C6/36細胞の増殖及び, その細胞でのデングウイルス, チクングニヤウイルス産生のアミノ酸要求性(英文). *Microbiol. Immunol.*, 24(10): 915-924.
- 里見三男(1942): Dengue (総説). 大阪高等医学専門学校雑誌, 9(4): 439.
- 里見三男(1943): Dengue 熱の診療. 医界週報, (414): 339.
- 里見三男(1943): Dengue 熱. 診療と経験, 7(1): 33.
- 澤田藤一郎(1942): Dengue 熱. 実験医報, 28年(11): 994.
- 澤田藤一郎(1943): Dengue 熱. 医学輯覧, (217): 9.
- 澤田藤一郎, 佐藤八郎, 蔡深河(1943): Dengue 熱の接種実験. 日本医学及健康保険, (3325): 529-531.
- 澤田藤一郎, 佐藤八郎, 寥貴英, 新井肇東, 蔡深河(1943): 予等の観察せる Dengue 熱症例(会). 熱帯医学(台湾), 1(5, 6): 615-616.
- Sevilla, V. B. (1966): Philippine に於ける出血熱の近年の発生(英文)(会). *Abstracts of Papers of the 11th Pacific Science Congress*, 8: 21.
- 柴田完(1931): デング熱の症状特に血液像(一)(会). 軍医團雑誌, (221): 2376.
- 柴田完(1932): デング熱患者胃液の酸度(会). 軍医團雑誌, (225): 468.
- 柴田完(1937): デング熱. 軍医團雑誌, (287): 661.
- 柴田堅誠(1943): Dengue 熱の血液並に骨髓像(会). 日本血液学会雑誌, 7(7): 29.
- 柴田堅誠(1946): Dengue 熱の血液並に骨髓像. 日本血液学会雑誌, 9(2): 44.
- 滋賀秀俊(1944): 昭和19年に於ける Dengue 熱発生状況(中間報告). 台湾の医界, 3(9): 448.
- 四熊克巳(1941): Dengue 熱. 臨牀の日本, 9, 3冊: 329.
- 島津洋三, 青木英夫, 堀田進(1966): 組織培養に於ける Dengue の研究(2) Virus 組織培養親和性に関する観察(英文). *Kobe J. Med. Sci.*, 12(4): 189-198.
- 下川八男(1942): Dengue 熱の内科的併発症. 台湾の医界, 1(9): 448.
- 志村芳雄(1942): Dengue 熱茶話. 治療学雑誌, 12(9): 735.
- 新宮正久(1953): Dengue 熱 Virus の赤血球凝集反応に関する研究. 久留米医学会雑誌, 16(1-4): 856.
- 新宮正久(1954): Dengue 熱 Virus の赤血球凝集反応に関する研究(予報)(会). 久留米医学会雑誌, 17(3, 4): 169.
- 新宮正久(1955): Dengue 熱 virus の血球凝集反応に関する研究(1) 血球凝集反応の条件及び其特異性. *Virus*, 5(3): 230-241.
- 新宮正久(1956): Dengue 熱 virus の血球凝集反応に関する研究(2) 血球凝集素の性状及び Medium, 塩化 Calcium 液の作用機序. *Virus*, 6(5): 442-453.
- 新宮正久(1957): Dengue 熱 virus の1日孵化卵培養に関する研究(会). 久留米医学会雑誌, 20(10): 1570.
- 新宮正久, 中川洋(1956): Dengue 熱 Virus の電子顕微鏡的研究(会). 日本細菌学雑誌, 11(12): 1122.
- 白井春生(1944): Dengue 熱の臨床的実験研究. 海軍軍医会雑誌, 33(6): 753-758.
- 白井春生(1944): Dengue 熱病毒接種二十日鼠各臓器内還元 Glutathion の消長と体内病毒の分布との関係並に病理組織学的変化に関する実験的研究(会). 海軍軍医会雑誌, 33(6): 792.
- 白井春生(1944): Dengue 熱病毒接種南京鼠各臓器の病理組織学的変化特に所謂核内包含体に関する実験的研究. 海軍軍医会雑誌, 33(7): 840-843.
- 白井春生(1944): Dengue 熱病毒を脳内接種せる南京鼠の各臓器内還元 Glutathion 量の消長と病毒の体内分布との関係に関する実験的研究. 海軍軍医会雑誌, 33(8): 933.
- 白石天外(1943): Dengue 熱に於ける血清学的所見特に Weil-Felix 反応の意義. 日本医学及健康保険, (3338): 1128-1131.
- 白木和子, 堀田進(1977): 固定株細胞培養におけるデング1型ウイルスの増殖(英文). *Microbiol. Immunol.*, 21(7): 411-415.
- 首藤三八(1943): 長崎及び阪神地方に於ける Dengue 熱(会). 海軍軍医会雑誌, 32(1): 76.
- 蕭秀河(1945): Dengue 熱に後発せる汎発性豹紋様表皮下色素沈著. 臨牀の皮膚泌尿と其境域, 11(1-6): 12.
- 蘇丁受(1943): 昭和17年流行の Dengue 熱. 診断と治療, 30(4): 333.
- 蘇丁受(1944): 実験的 Dengue 熱の数例. 熱帯医学(台湾), 2(1): 33-38.
- 園田一也(1941): Dengue 熱の罹病体験. 日本医事新報, (1001): 4401.
- 荘金座(1944): Dengue 熱患者の糖代謝. 熱帯医学, 2(1): 31.
- 須田栄二(1950): Dengue 熱に因る硝子体濁濁の一例(会). 眼科臨牀医報, 44(8): 399.
- 須田栄二(1952): Dengue 熱に因る硝子体濁濁の一例. 眼科臨牀医報, 46(3): 165.
- 末永代四郎(1931): 飛行第八連隊に流行せるデング熱. 軍医團雑誌, (220号外): 2041.
- 末永代四郎(1933): デング熱の白血球像に関する補遺. 台湾医学会雑誌, 32(5): 708.
- 末永代四郎(1933): デング熱の白血球像に関する補遺. 軍医團雑誌, (242): 951.
- 鈴木猛, F. Sone (1978): 西サモアにおけるフィラリ

- ア症およびデング熱媒介蚊の発生源に関する知見 (英文). 衛生動物, **29**(4): 279-286.
- 高木直也(1943): 筋炎, Dengue 熱の例. 漢方と漢薬, **10**(10): 743.
- 高橋熊夫(1942): 本夏経験せし Dengue 熱. 医事公論, (1584): 3053.
- 高見嘉重(1961): Virus 感染組織培養細胞の形態学的変化に関する研究, 特に Trypsin 処理 Hamster 腎細胞培養の日本脳炎, Dengue 熱及び黄熱 Virus 感染に関する細胞学的研究. 神戸医科大学紀要, **21**(3): 621-641.
- 高宮 篤, 中根英夫(1945): Dengue 熱患者の尿並に肝臓機能検査所見. 海軍軍医会雑誌, **34**(1): 29.
- 高崎 浩(1959): Dengue 熱と其剖検 7 例, 特に脳の出血巣に対する考察(会). 日本伝染病学会雑誌, **32**(12): 941.
- 高崎 浩, 岡田藤助(1958): 脳の出血を伴へる Dengue 熱と其剖検 7 例, 特に脳の出血巣の特異性. 三重医学, **2**(4): 554-559.
- 高崎佐太郎(1943): マラリアと Dengue (講演). 実験医報, **30**年(2): 68.
- 高瀬 清, 松下兼知(1943): Dengue 熱の免疫学的意義並に局所皮膚反応(会). 精神神経学雑誌, **47**(12): 755.
- 高瀬 清, 松下兼知(1943): 再び Dengue 熱に依る精神医学的治療価値(会). 精神神経学雑誌, **47**(12): 755.
- 高瀬 清, 松竹勝之(1943): Dengue 熱の研究. 日本医事新報, (1096): 1793; (1097): 1827.
- 高瀬 清, 松竹勝之(1944): Dengue 熱研究(2) Dengue 熱の頓挫療法. 臨牀と研究, **21**(12): 959.
- 高田八郎(1943): 神戸市に於ける Dengue 熱の臨床, 診断と治療, **30**(4): 330.
- 高田八郎, 堀江一二三, 前島洋四, 楨村博介(1942): 昭和17年神戸市に流行の Dengue 熱臨床観察. 兵庫医学, **8**(3): 241; 医事公論, (1580): 2814.
- 高山義武(1943): Dengue 熱の血液像に関する二, 三の知見. 軍医団雑誌, (360): 535-544.
- 高山義武(1944): Dengue 熱に関する研究(1) 血液像及び骨体像. 岡山医学会雑誌, **56**年(2): 171.
- 高山義武(1944): Dengue 熱に関する(2) 本症に特記す可き一過性 Plasma 細菌過多症. 岡山医学会雑誌, **56**年(3): 290.
- 竹田正次(1942): 本年神戸市に流行の Dengue 熱臨床観察概要. 日本医事新報, (1050): 2428.
- 竹田正次, 楨村博介(1943): Dengue 熱と流行性脳炎の疫学的観察比較(会). 兵庫医学, **9**(1): 61.
- 竹原 学(1962): Arbor 群 Virus の化学的症狀に関する研究(2) Dengue 熱 Virus 及び其他二, 三の Arbor Virus の部分的精製. ウイルス, **12**(6): 249-254.
- 竹内五郎(1948): Dengue 熱患者に於ける赤血球網織状物質の出現. 医学, **5**(4): 182.
- 竹内兵衛, 桑原 宏, 渡辺謹一(1941): 南通に於ける Dengue 熱の統計的観察(会). 北海道医学雑誌, **19**年(12): 2598.
- 竹内松次郎(1942): 南方諸国の伝染病(3) Dengue 熱. 日本医事新報, (1012): 343.
- 竹内松次郎(1942): Dengue 熱. 日本医事新報, (1045): 2176.
- 竹内松次郎(1943): Dengue 熱病原研究の現状. 医事公論, (1618): 1932; 鐵門戦時特集号, (6): 9.
- 竹内松次郎(1943): Dengue 熱研究の現情勢. 日本医事新報, (1082): 1248.
- 竹内松次郎(1943): Dengue 熱研究の現状(2) 日本医事新報, (1092): 1643.
- 竹内松次郎(1944): Dengue 熱の病原研究. 日本医事新報, (1115): 211.
- 竹内松次郎, 後藤正勝, 大場正道, 斉藤福治, 竹川 勲(1946): Dengue 熱病毒に関する研究. 日本衛生学雑誌, **1**(1): 9.
- 田口保平, 大森泰夫(1943): 昭和17年沖縄県に流行せる Dengue 熱の血液所見. 実験医報, **29**年(5): 375.
- 田宮猛雄(1942): Dengue 熱防疫方針の決定. 日本医事新報, (1045): 2184.
- 田辺 巖(1973): デング熱ウイルスの組織培養による研究(VI) デング熱ウイルス 4 型の日本猿腎系培養細胞における培養(英文). *Kobe J. Med. Sci.*, **19**(4): 181-184.
- 田中 貞(1943): 県下玉島町に発生せる Dengue 熱(会). 岡山医学会雑誌, **58**(2): 159.
- 田中民夫(1942): 今回流行の Dengue 熱. 日本医学及健康保険, (3306): 2292.
- 谷口腆二(1943): Dengue 熱の動物試験(会). 大阪医学会雑誌, **42**(12): 2100.
- 谷口腆二(1949): Dengue 熱の動物試験及び免疫に関する研究(会). 風土病研究, 93.
- 谷口腆二, 藤野恒三郎, 猪木正三, 奥野良臣(1951): Dengue 熱の実験的接種研究(英文). *Med. J. Osaka Univ.*, **2**(2): 1-36.
- 谷口腆二, 藤野恒三郎, 猪木正三, 奥野良臣(1951): Dengue 熱の実験的接種研究(英文). 大阪大学微生物病研究所年報, **1**: 1.
- 寺田正中, 大黒 勇, 富井武寛, 星野 孝, 加藤徳夫, 口羽二郎, 渡辺暉邦, 安田義雄, 鶴飼新一郎, 横山武義, 新井正喜, 工藤清司, 宇佐美七三郎(1950): 日本脳炎及び Dengue 熱病毒並に Bakteriophage の電子顕微鏡的研究(会). 成医会雑誌, **64**(3): 174.
- 寺澤幸助(1916): でんぐ熱ニ合併セル重症萎縮性浮腫性脚氣ニ就テ(会). 海軍々医会会報, (13).
- Thein, S., W. Auvanich, M. A. Quina ほか 3 名(1979): I 型 Dengue ウイルス接種 *Aedes albopictus*, clone C 6/36 より作成した赤血球凝集素(英文). *Biken J.*, **22**(2): 47-53.
- 登原虎之助(1926): でんぐ熱ニ就テ. 軍医団雑誌, (160).
- 戸田 亨(1942): Dengue 熱. 日新治療, (296): 453.
- 戸田忠雄(1951): 我国に於ける Dengue 熱の研究. 日本医事新報, (1405): 835.
- 戸田忠雄, 中川 洋(1943): Dengue 熱病原体に関する研究(1) 孵化鶏卵内培養に依る Dengue 熱病原体の大きさ測定. 日本医学及健康保険, (3331): 831.
- 戸田忠雄, 中川 洋(1943): Dengue 熱病原体に関する研究(2) 人体接種に依る Dengue 熱病原体の大きさ測定. 日本医学及健康保険, (3332): 877-878.

- 戸田忠雄, 中川 洋(1943): 限外濾過法に依る Dengue 熱病原体の大きさ. 福岡医学雑誌, **36**(8): 807.
- 戸田忠雄, 中川 洋(1944): Dengue 熱ウイルスのマウスに対する作用. 福岡医学雑誌, **37**(9): 664.
- 戸田忠雄, 中川 洋(1944): Dengue 熱病原体に関する研究(4) Dengue 熱病原体の大きさの研究補遺. 日本医学, (3368): 302-303.
- 戸田忠雄, 中川 洋(1944): Dengue 熱病原体に関する研究(6) 動物試験(マウス脳内接種)成績. 日本医学, (3379): 647-649.
- 戸田忠雄, 中川 洋(1944): 限外濾過法に依る Dengue 熱病原体の大きさ(補遺). 福岡医学雑誌, **37**(9): 663.
- 戸田忠雄, 中川 洋(1944): Dengue 熱病原体に関する研究(7) 病毒脳内接種マウスに於ける中枢神経系統病変の病理組織学的研究. 日本医学, (3383): 729-730.
- 戸田忠雄, 中川 洋(1949): Dengue 熱病原体の研究(会). 風土病研究(宮川米次編), p. 93, 日本医学雑誌・株, 東京.
- 戸田忠雄, 中川 洋(1950): Dengue 熱 Virus 研究(英文). *Kyushu Mem. Med. Sci.*, **1**(2, 3): 69.
- 戸田忠雄, 中川 洋, 柳 駿(1943): Dengue 熱病原体に関する研究(3) 家兎前眼房内接種成績. 日本医学及健康保険, (3333): 919-921.
- 戸田忠雄, 中川 洋, 舌間慶太郎(1944): Dengue 熱病原体に関する研究(5) 冷凍乾燥法に依る病毒保存の研究. 日本医学, (3369): 338-339.
- 戸田忠雄, 中川 洋, 舌間慶太郎, 操 坦道, 木村光雄(1946): Dengue 熱病原体に関する研究(8) 冷凍乾燥法に依る病毒保存の研究(2), 臨牀と研究, **23**(5): 155-156.
- 戸田忠雄, 中川 洋, 舌間慶太郎, 操 坦道, 木村光雄, 光富新吾(1950): Dengue 熱病原体に関する研究(9) 凍結乾燥法に依る病毒保存の研究(3)
- 戸田忠雄, 中川 洋, 舌間慶太郎, 操 坦道, 木村光雄, 光富慎吾(1951): 真空凍結乾燥法に依る Dengue 熱 Virus の保存, 日本伝染病学会雑誌, **24**(9, 10): 225.
- 友田 忠(1968): マウスに於ける実験的 Dengue 熱 Virus 感染の中枢神経を中心とした組織病理学的研究. 精神神経学雑誌, **70**(3): 224-233.
- 富山堯夫(1943): Dengue 熱に因る視力障害の一症例. 台湾の医界, **1**(12): 628.
- 殿村京造, 山口謹爾, 小泉 丹(1916): でんぐ熱ノ実験的研究(会). 細菌学雑誌, (247).
- 戸塚雅夫(1945): Dengue 熱の臨床的観察(会). 海軍軍医会雑誌, **34**(1): 58.
- Tuchinda, P., R. Suwanik, S. Tuchinda, P. Bhanchet (1966): Thai 出血熱, 其病態生理学(英文)(会). *Abstracts of Papers of the 11th Pacific Science Congress*, 8: 4.
- Tuchinda, P., 新居志郎, 内藤又夫, 内藤継世, 笹田隆博, S. Ahandrik, S. Sawadikosol(1969): Dengue 熱 virus の *in vitro* 及 *in vivo* 実験(会). ウイルス, **19**(5): 295.
- 土屋 毅(1942): Dengue 熱. 日本医事新報, (1033): 1532.
- 塚原義夫(1929): デング熱に原因する汎発性網膜炎の一例(会). 中央眼科医報, **21**(4).
- 鶴見三三, 辛 鈞(1943): Dengue 熱ウイルスに関する研究(1) 孵化鶏卵内培養並に動物実験. 日本医学及健康保険, (3341): 1253-1255.
- 鶴見三三, 羽根田貞司(1944): Dengue 熱と免疫. 日本医学, (3360): 13.
- 内田信久(1942): 長崎市 Dengue 熱流行地点の蚊. 日本医学及健康保険, (3306): 2397-2399.
- 内田三千太郎(1942): 神戸に於ける Dengue 熱を観て. 医事公論, (1582): 2934.
- 内田三千太郎, 石川東二(1942): 神戸に於ける Dengue 熱瞥見. 日本医学及健康保険, (3306): 2287.
- 内田三千太郎, 石川東二(1942): Dengue 熱の発疹(図説). 日本医学及健康保険, (3306).
- 上田慶喜(1961): 日本脳炎 Virus 並に Dengue 熱 Virus の補体結合反応に関する研究. 神戸医科大学紀要, **21**(4): 938-949.
- 上村忠雄, 長谷川渙, 小島 瑞, 池田申次, 関川良雄(1944): Dengue 熱病毒接種に依る麻痺性痴呆の治療. 北越医学会雑誌, **59**年(9): 1264.
- 上田慶喜, 大山昭夫, 堀田 進(1961): 補体結合反応に由る Dengue 熱及び日本脳炎 Virus の免疫学的関係(会). 日本細菌学雑誌, **16**(11): 999.
- 若松千代(1943): Dengue 熱に依る中心性網膜炎2例(会). 綜合眼科雑誌, **38**(10): 1115.
- 分島 俊(1943): Dengue 熱と精神異常(会). 熱帯医学, **1**(5, 6): 614.
- 和氣 巖(1944): Dengue 熱に於ける精神神経障害並に脳組織変化(会). 台湾医学会雑誌, **43**(12): 892.
- 和氣 巖(1944): Dengue 熱に於ける精神神経障害並に脳組織変化. 台湾の医界, **3**(9): 441.
- Wijseman, C. L. (1966): Dengue 熱の予防特に生 Vaccin(英文). 熱帯医学会報, **7**(1): 51-55.
- 山田隆巳(1960): Dengue 熱 Virus の保存に関する一考察. 神戸医科大学紀要, **19**(1): 207-209.
- 山田隆巳(1961): Dengue 熱 Virus (1型)の組織培養に関する研究. 神戸医科大学紀要, **22**(4): 934-949.
- 山田隆巳, 栗井馨祐, 大山昭夫, 堀田 進(1960): Dengue 熱 Virus の組織培養に関する研究(会). 日本細菌学雑誌, **15**(10): 1088-1089.
- 山本信一(1936): 小笠原諸島に発生せるデング熱. 最新治療, **12**(8): 32.
- 山崎 宏(1936): 南洋群島に於ける小児疾患. 児科診療, **2**(9): 698.
- 柳金太郎(1944): Dengue 熱の臨床的所見. 台湾の医界, **3**(9): 453.
- 柳下徳雄(1971): 目で見る発疹感染症(17) Dengue 熱(図説). 日本医師会雑誌, **66**(9): 3.
- 矢野精太郎(1943): 熱帯病の話, Dengue 熱. 日新治療, (300): 54; (301): 64.
- 矢追秀武(1943): Dengue 熱研究と動物実験. 日新医学, **32**年(7): 620.
- 矢追秀武(1946): Dengue 熱に関する研究(総説). 病理学雑誌, **4**(2): 17.
- 矢追秀武(1957): Dengue 熱に関する研究(英文). *Yokohama Med. Bull.*, **9**(1): 1-20.

- 矢追秀武, 荒川清二(1943): Dengue 熱病毒に関する実験的研究 (1) 諸動物の感染試験 (2) 組織培養 (3) 物理的影響 (4) 中和試験並に実験的血清療法 (5) 化学療法 (会). 実験医学雑誌, 27(3): 310.
- 矢追秀武, 荒川清二(1943): レ線に依る病毒の不活化 (会). 実験医学雑誌, 27(5): 496.
- 矢追秀武, 荒川清二(1943): Dengue 熱の病毒に関する研究 (1) 動物 (マウス, 海狸, 家兎, 猿) 接種成績. 日本医学及健康保険, (3319): 244-247.
- 矢追秀武, 荒川清二(1943): Dengue 熱の病毒に関する研究 (2) Dengue 熱病毒の Maitland Maitland に依る培養. 日本医学及健康保険, (3322): 289-290.
- 矢追秀武, 荒川清二(1943): Dengue 熱の病毒に関する研究 (3) 家兎免疫血清を以てする交叉試験並に実験的血清療法の成果. 日本医学及健康保険, (3323): 431-433.
- 矢追秀武, 荒川清二(1943): Dengue 熱病毒に関する実験的研究 (6) マウス通過病毒の人体接種成績 (会). 実験医学雑誌, 27(5): 497.
- 矢追秀武, 荒川清二(1943): Dengue 熱病毒に関する研究 (7) 昭和18年大阪に於ける流行に際して行へる血清療法の効果 (会). 実験医学雑誌, 27(11): 1124.
- 矢追秀武, 荒川清二(1944): Dengue 熱の病毒に関する研究 (4) Dengue 熱血清療法の効果. 日本医学, (3360): 17-21.
- 矢追秀武, 荒川清二(1945): Dengue 熱に関する研究 (1) 調査的事項の概要. 日本臨牀, 3(9): 201.
- 矢追秀武, 荒川清二(1946): Dengue 熱の病毒に関する研究 (6) Dengue 熱病毒の鶏卵培養. 日本医学, (3405): 101.
- 矢追秀武, 荒川清二(1946): Dengue 熱に関する研究 (8) マウス固定病毒の人体に対する起病性並に免疫元性. 日本臨牀, 4(8): 457.
- 矢追秀武, 荒川清二(1946): Dengue 熱に関する研究 (9) 現地に於て実施せる予防接種の成績. 日本臨牀, 4(12): 749-752.
- 矢追秀武, 荒川清二(1948): Dengue 熱の研究 (英文). *Jap. Med. J.*, 1(1): 4-12.
- 矢追秀武, 荒川清二, 多ヶ谷勇(1946): Dengue 熱の病毒に関する研究 (5) マウス固定病毒の限外濾過試験. 日本医学, (3402): 45-46.
- 矢追秀武, 荒川清二, 多ヶ谷勇(1947): 鶏卵培養 (特に鶏胎児) に依る Dengue 熱ワクチンの製造. 医学と生物学, 10(1): 3.
- 矢追秀武, 多ヶ谷勇, 小澤芳治, 前田道明, 大谷 明(1950): Dengue 熱病毒の精製と電子顕微鏡像 (会). 日本細菌学雑誌, 5(4): 205.
- 矢追秀武, 多ヶ谷勇, 小澤芳治(1953): Dengue 熱 Virus の精製に関する研究 Methanol 沈澱法に依る精製. 総合医学, 10(11): 814.
- 矢追秀武, 多ヶ谷勇, 小澤芳治(1954): Methanol 法に依る Dengue 熱 Virus の精製 (英文). *Yokohama Med. Bull.*, 5(2): 68.
- 矢崎俊政(1959): 軍艦に於ける Dengue 熱の集団発生. 統計的疫学雑誌, 2(3): 81.
- 米田正治(1943): 本年初めて経験せる Dengue 熱の三症例. 日本医学及健康保険, (3350): 1619.
- 米田正治, 田口保平(1944): Dengue 熱の研究 (1) Dengue 熱患者の脳脊髄液に関する臨床的研究. 日本医学, (3360): 21.
- 米田正治, 城間盛光(1943): 昭和18年沖縄地方に散発せる Dengue 熱の臨床的観察. 日本医事新報, (1105): 2129; (1106): 2165.
- 米田正治, 城間盛光(1944): Dengue 熱の研究 (2) 冬季の蚊並に再感染に関する研究. 日本医学, (3378): 468.
- 米田正治, 佐々木寛, 田口保平(1943): Dengue 熱体験記. 九大医報, 17(7): 143.
- 米田正治, 齊藤 実, 合屋未千代, 佐々木寛, 田口安平, 大森泰夫, 城間盛光(1943): 昭和17年沖縄県に流行せる Dengue 熱の臨床的観察. 臨牀医学, 31年(3): 359.
- 吉井宗武(1943): Dengue 熱病毒に関する研究. 軍医團雑誌, (359): 381.
- 吉仲由之, 竹原 学, 堀田 進(1969): Gel 濾過法に由る Dengue 熱 Virus の精製と物理的性状の検討 (会). ウィルス, 19(5): 288.
- 吉野高善(1943): 南部沖縄に流行の Dengue 熱. 実地医家と臨牀, 20(8): 479.
- 湯口謹治(1943): Dengue 熱経過中に現れし特異なる網脈絡膜炎の一例 (会). 海軍軍医会雑誌, 32(4): 327.
- 湯口謹治(1943): Dengue 熱経過中に現れし特異なる網脈絡膜炎の一例. 海軍軍医会雑誌, 32(8): 627.

追 加

- Igarashi, A. (1977): Infectivity titration of dengue viruses by focus counting and its applications. U. S.-Japan Med. Sci. Prog., Panel on Viral Diseases, July 11-13, Abstracts: I.
- Igarashi, A. (1978): Isolation of a Singh's *Aedes albopictus* cell clone sensitive to dengue and chikungunya viruses. *J. Gen. Virol.*, 40: 531-544.
- Igarashi, A. (1979): Characteristics of *Aedes albopictus* cells persistently infected with dengue viruses. *Nature*, 280(5724): 690-691.
- Igarashi, A., Y. Okuno and K. Fukai (1979): Comparative sensitivity of focus counting method in the infectivity titration of dengue viruses and in the neutralization test. *Jap. J. Trop. Med.*, 7 (3/4): 191-199.
- Ko, K. K., A. Igarashi and K. Fukai (1979): Electron microscopic observations on *Aedes albopictus* cells infected with dengue viruses. *Archiv. Virol.*, 62: 41-52.
- Kuberski, T., B. Flores and G. Kuno (1982): *Dengue and Dengue Fever Viruses: A Comprehensive Bibliography*. South Pacific Commission. Noumea, New Caledonia (in press).